



|                  |   |
|------------------|---|
| Title            | 北海道大学北方生物圏フィールド科学センター厚岸臨海実験所付近の貝類：潮間帯編  |
| Author(s)        | 北海道大学北方圏貝類研究会; 山崎, 友資   |
| Citation         | ISBN 978-4-9904532-1-3  |
| Issue Date       | 2011-03   |
| Doc URL          | <a href="http://hdl.handle.net/2115/48596">http://hdl.handle.net/2115/48596</a> |
| Type             | book  |
| Note             | 「北大元気プロジェクト2009・2010」の助成を得て出版されたもの  |
| File Information | Intertidal areas.pdf  |



[Instructions for use](#)

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター  
厚岸臨海実験所付近の貝類 潮間帯編

---

Molluscan Fauna of Akkeshi Marine Station  
Field Science Center for Northern Biosphere, Hokkaido University  
Part 1. Intertidal areas.

北海道大学  
北方圏貝類研究会 山崎友資 編著

Edited By  
Conchological Club of Northern Regions, Hokkaido University  
Tomoyasu Yamazaki

2011



北海道大学北方生物圏フィールド科学センター  
厚岸臨海実験所付近の貝類 潮間帯編

---

Molluscan Fauna of Akkeshi Marine Station  
Field Science Center for Northern Biosphere, Hokkaido University  
Part 1. Intertidal areas.

北海道大学  
北方圏貝類研究会 山崎友資 編著

Edited By  
Conchological Club of Northern Regions, Hokkaido University  
Tomoyasu Yamazaki

2011



## はじめに

厚岸臨海実験所付近に生息する貝類の種類は、波部忠重教授による 1955 年と 1958 年の「厚岸臨海実験所付近の貝類」の報告によって初めて明らかとなった。これらの報告によって、合計 130 種類の貝類が記録された。報告では、北海道周辺海域において一般的に見られるウチダベッコウタマガイ *Marsenina uchidai* (Habe, 1958) など、数種類が新種として記載された。波部忠重教授による報告は、現在においても、厚岸近海に限らず、北海道の太平洋沿岸における貝類相を把握する上で、重要な成果として扱われている。その後、1969 年に市立函館博物館の石川政治氏によって、厚岸沖の水深 45 から 135 m に生息する 51 種類の貝類が報告された。石川政治氏は厚岸沖の貝類相はカムチャッカ沖の水深約 100 から 200 m の貝類相と類似することを提示した。厚岸臨海実験所付近に生息する貝類について、これらの報告以来、まとまった報告が無く、最後の報告から約 40 年経過していることもあり、多くの種類で属位の変更や、シノニムが整理され、当時のリストを整理・統合する必要性が生じてきた。また、当時の報告に含まれていない種類の生息も予測される。

北海道大学の北方圏貝類研究会は、これまでに、北海道大学元気プロジェクト 2008 で北海道大学が所有する臨海実験所のうち、臼尻水産実験所付近の貝類について調査し、報告してきた。その後、「厚岸臨海実験所付近の貝類の調査」で、2009 年度と 2010 年度の合計 2 年度、元気プロジェクトに採択された。2 年間に渡るプロジェクトで、厚岸湾を含む北海道東部にこれまで報告されてきた貝類のリストを整理・統合するとともに、厚岸臨海実験所付近に生息する貝類について、調査してきた。調査で得られた成果は、学術的な価値を追求しつつ、一般にも浸透しやすいよう、厚岸臨海実験所付近に生息する貝類について、できるだけ多くの生態写真を取り入れるように努め、当出版物となった。

「厚岸臨海実験所付近の貝類 潮間帯編」の図書は 2005 年に北海道大学水産科学院に設置されたサークル北方圏貝類研究会のメンバーが中心に作成した。標本の一部は、東京大学総合博物館の佐々木猛智博士、国立科学博物館の齋藤 寛博士、芳賀拓真博士、東京家政学院大学の沼波秀樹博士に同定していただいた。貝類の採集は、潮間帯のみならず、実験所沖合で厚岸臨海実験所の技術職員である濱野章一氏、桂川英徳氏の両氏の協力で、調査船によるドレッチで、水深 130 m 付近まで生息する貝類の調査をおこなった。ドレッチで採取された貝類は数百種類にも達し、多くの新しい知見が含まれることから、2 年間のプロジェクトでは完了することは出来ず、今回は潮間帯で見られる種類に限定した。最後に、厚岸臨海実験所所長の仲岡雅裕教授には厚岸付近での貝類相調査について快く快諾していただいた。ここにこれらの方々に深謝の意を表します。

2011 年 3 月 25 日

北方圏貝類研究会会長  
山崎 友資



# 目次

|     |                         |    |             |
|-----|-------------------------|----|-------------|
| 第1章 | 北方生物圏フィールド科学センター厚岸水産実験所 | 1  |             |
| 1.  | 厚岸臨海実験所沿革               | 1  | (柏尾 翔)      |
| 2.  | 厚岸湾の環境                  | 2  | (柏尾 翔)      |
| 3.  | 厚岸湾の生物相                 | 3  | (柏尾 翔)      |
|     | (1) プランクトン相             | 3  |             |
|     | (2) 海藻相                 | 3  |             |
|     | (3) 魚類相                 | 3  |             |
| 第2章 | 北海道東部における貝類研究の現状        | 5  |             |
| 1.  | 北海道東部における貝類研究史          | 5  | (山崎友資・柏尾 翔) |
| 2.  | 北海道東部から報告された貝類          | 6  | (柏尾 翔・山崎友資) |
| 3.  | 北海道東部から新種記載された貝類        | 25 | (柏尾 翔)      |
| 第3章 | 厚岸臨海実験所付近の貝類            | 33 |             |
| 1.  | 調査場所                    | 33 | (柏尾 翔)      |
| 2.  | 厚岸実験所付近の貝類              | 33 | (山崎友資・柏尾 翔) |
|     | 多板綱                     | 34 |             |
|     | 腹足綱                     | 38 |             |
|     | 二枚貝綱                    | 52 |             |
|     | 解説                      | 56 |             |
| 3.  | 厚岸臨海実験所付近の貝類相の特徴        | 60 | (山崎友資)      |





# 第1章 北方圏フィールド科学センター 厚岸臨海実験所

## 1. 厚岸臨海実験所沿革

厚岸湾は、北海道東部の太平洋に面する湾口約 10 km の湾で、厚岸湾の奥には厚岸湖が存在する。湾内ではカキやアサリの養殖が盛んに行われている。厚岸臨海実験所は、湾の東側に昭和6(1931)年に建設され、本館(図1-1右側の施設)と実習宿泊棟(図1-1左側)から構成される。ここでは、厚岸臨海実験所の沿革について記述する。



図1-1 厚岸湾沖合いから見る厚岸臨海実験所の施設群。実験宿泊棟(左)と実験棟(右)。

昭和6年(1931)5月9日

理学部に附属臨海実験所を設置

昭和6年(1931)8月25日

理学部附属臨海実験所の新築工事が落成

昭和6年(1931)10月25日

理学部附属臨海実験所発電室の新築工事が落成

昭和7年(1932)10月20日

理学部附属臨海実験所実験室の新築工事が落成

**昭和 24 年 (1949) 4 月 22 日**

大蔵省から、理学部厚岸臨海実験所敷地として、厚岸町所在地二八六、九七〇平方メートルの所管換を受ける

**昭和 27 年 (1952) 4 月 17 日**

文部省告示第十三号をもって、博物館法の規定に基づき北海道大学理学部附属臨海実験所水族館を指定

**昭和 30 年 (1955) 12 月 28 日**

文部省告示第百八号をもって、博物館法第二十九条の規定に基づき、博物館に相当する施設として、北海道大学理学部附属厚岸博物館、北海道大学理学部附属臨海実験所水族館を指定

**昭和 40 年 (1965) 7 月 28 日**

北海道大学理学部附属臨海実験所水族館及び北海道大学理学部附属臨海実験所博物館縦覧規程を制定

**昭和 45 年 (1970) 10 月 30 日**

理学部附属臨海実験所公務員宿舎四七平方メートルの新築工事が落成

**昭和 47 年 (1972) 10 月 31 日**

理学部附属厚岸臨海実験所実験宿泊棟七三四平方メートルの新築工事が落成

**昭和 51 年 (1976) 11 月 13 日**

厚岸臨海実験所艇庫一六〇平方メートルの新築工事を落成

**昭和 52 年 (1977) 12 月 28 日**

厚岸臨海実験所公務員宿舎敷地三〇五平方メートルを厚岸町に売却

**昭和 63 年 (1988) 11 月 8 日**

厚岸臨海実験所科学博物館六八二平方メートルの新築工事が落成

(北海道大学庶務部庶務課, 1991)

## 2. 厚岸湾の環境

厚岸湾は、南北約 13 km、東西約 12 km、約 120 km<sup>2</sup>の面積を有し、北海道の太平洋沿岸に面する湾の中で北海道南西部に位置する噴火湾に次いで大きい。厚岸湾湾口部には面積約 1 km<sup>2</sup>の大黒島が浮かぶ。厚岸湾の奥部には厚岸港があり、その奥に幅約 700 m、最大水深約 10 m の水路を通し、厚岸湖と繋がっている。厚岸湖は別寒辺牛川などの大小いくつかの河川が注ぐ汽水湖である。厚岸湾の気候は、冷たい千島海流 (親潮) の影響を受け、気候は冬季湿潤寒冷型のため、気温は 1 年を通して低く、高温の時期は短い。暖かい陸地と冷たい海水との温度差によって、5 月から 8 月の間に海霧が生じる。

### 3. 厚岸湾の生物相

#### (1) プランクトン相

動物プランクトンと植物プランクトンは、親潮の影響により、寒流系の種が主に出現する。湾内におけるプランクトン群集の生物量は季節的に変化し、春季と秋季に増加する傾向にある。一般に、この傾向は亜寒帯のプランクトン群集に見られ、春季の水温上昇と海表面への日射量の増加、秋季の水温低下がもたらす鉛直混合による栄養塩類の上昇が要因と考えられている。

厚岸湾からは動物プランクトンとしてヒドロクラゲ類 9 種、管クラゲ類 1 種、ホウキムシ類 1 種、ヤムシ類 3 種、ウミグモ類 1 種、枝角類 3 種、カイアシ類 28 種、クマ類 1 種、アミ類 1 種、等脚類 1 種、端脚類 5 種、尾虫類 4 種、サルパ類 1 種、その他は多毛類、棘皮動物類、軟体動物類、十脚類、オキアミ類、腸鰓類が確認されている。また、植物プランクトンとしては珪藻類が約 100 種と非常に多く、他はユレモ類、珪質鞭毛藻類、渦鞭毛藻類が確認されている。

(Hada, 1937)

#### (2) 海藻 (草) 相

海藻 (草) 類は厚岸湾から約 120 種が確認されている。厚岸臨海実験所付近において、紅藻類ではフクロフノリ・フジマツモ・オゴノリなど、褐藻類ではヒバマタ・エゾイシゲ・アナメ・ネコアシコンブ・スジメ・トロロコンブ・オニココンブ・ナガコンブ・ホソバワカメなど、緑藻類ではアナアオサ・ジュズモ・ミル・モツキヒトヘなどが多く見られる。国内最大のアマモの単純群落が見られる唯一の場所であり、寒流系のコンブ類や藻類が多く生息するため、生態学的景観に優れている。

厚岸湾で見られるコンブ科の海藻類は、水産有用種として非常に注目されており、カキやアサリとともに代表的な産業種として挙げられる。

(Yamada & Tanaka, 1944; 寺脇・新井, 2001)

#### (3) 魚類相

厚岸湾の魚類相は、寒流系の種類で構成されている。厚岸湾沿岸では、北日本系魚類としてサケ、キュウリウオ、ウグイ、コマイ、スジアイナメ、エゾアイナメ、イソバテング、イトヒキカジカ、オホーツクツノカジカ、シモフリカジカ、ギスカジカ、シチロウオ、カムトサチウオ、ヤセサブロウ、ヤギウオ、エゾクサウオ、ハナイトギンポ、ナガガジ、ヌイメガジ、ガジ、ムロランギンポ、ゴマギンポ、ナガヅカ、タケギンポ、ニシキギンポ、ハコダテギンポ、クロガレイ、トウガレイの 28 種と中間系魚類としてアイナメの 1 種が確認されている。また、来遊魚として、ニシン、シシャモ、シラウオ、ワカサギ、ハタハタが挙げられる。

(松浦ら, 1993)

## 引用文献

- Hada, Y. 1937. The Fauna of Akkeshi Bay IV. *The Pelagic Ciliata. Journal of the Faculty of Science Hokkaido Imperial University Series, Zoology*, 5(3): 143-216.
- 北海道大学庶務部庶務課. 1991. 北海道大学一覧 平成元年～二年. 9-113.
- 松浦啓一・矢部 衛・新井良一. 1993. 北海道東部の沿岸性魚類. 国立科博専報, 26: 125-134.
- 寺脇利信・新井章吾. 2001. 6. 北海道厚岸町・北海道大学厚岸臨海実験所地先 藻類. *Japanese Journal of Phycology*, 49 (1): 11-13.
- Yamada, Y. & Tanaka, T. 1944. Marine Algae in the Vicinity of the Akkeshi Marine Biological Station. *Scientific Papers of the Institute of Algological Research, Faculty of Science*, 3: 47-77.

## 第2章 北海道東部における貝類研究の現状

### 1. 北海道東部における貝類研究史

北海道全体における貝類相は黒田・木下 (1951) のリストによって初めて明らかとなった。以後、北海道における地域貝類相の研究は、各地で行われてきた。北海道東部においては、厚岸湾における波部忠重教授の報告の他に、図2-1に示す地域においてまとまった報告がある。近年では、知床半島とその周辺海域が世界自然遺産の指定を受けたことから、知床周辺海域における貝類相研究が活発に行われている (図2-1, 表2-1; ⑫-⑭)。北海道東部の貝類をまとめたものとして、特定の分類群に限っては、ヒザラガイ類で Saito (1994), オホーツク海沿岸の打ち上げ貝類に限定したものに伊藤 (1963), 鈴木 (2005) の報告がある。これまでに、北海道東部において多くの報告がなされてきたが、これらを整理・統合した例は無い。そこで、次の項目で、これらの報告をまとめ、整理・統合した。

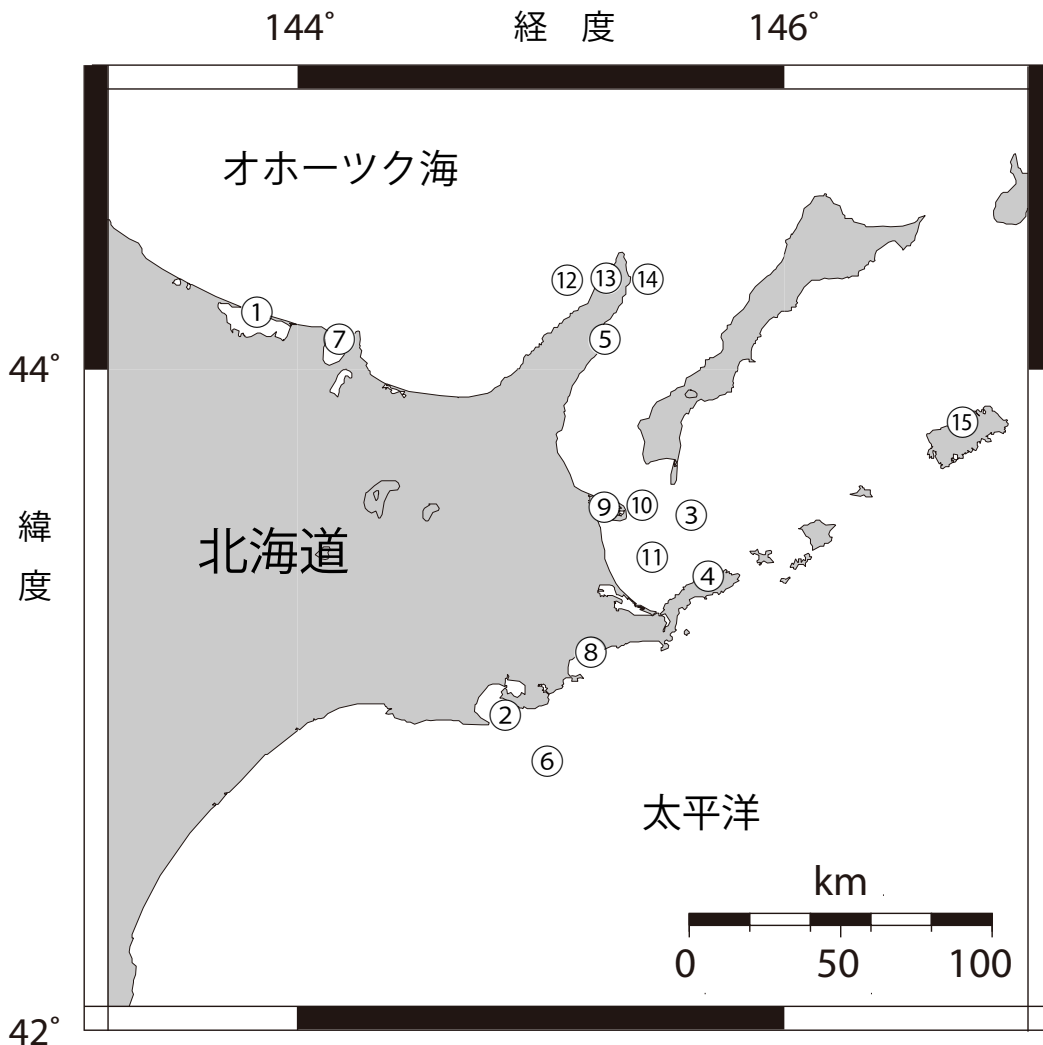


図2-1. 北海道東部に生息する貝類について、まとまった報告がされた地点。

表 2-1. 図 2-1 で示した報告の年代, 著者と題目。

| 番号 | 年代   | 著者   | 題目   |
|----|------|--|--|
| ①  | 1935 | 木下虎一郎  | 北海道猿瀧湖の貝類  |
| ②  | 1957 | 馬場菊太郎  | 厚岸と浅虫  |
| ③  | 1957 | Shikama Tokio  | One some gastropoda from Nemuro Strait, Eastern Hokkaido   |
| ④  | 1967 | 横平 弘   | 根室沿岸の貝類  |
| ⑤  | 1968 | 波部忠重, 伊藤 潔   | 北海道羅臼産エゾバイ科の種類   |
| ⑥  | 1969 | 石川政治   | 淡青丸で採集した北海道厚岸沖の貝類について  |
| ⑦  | 1978 | Nakao Shigeru  | Distribution of benthos in relation to the sulfide-content in the bottom sediments of mixo-polyhaline lake Notoro, Hokkaido. |
| ⑧  | 1983 | 高丸禮好   | 浜中湾および琵琶湾におけるホッキガイ漁場の大型底生動物群集  |
| ⑨  | 1984 | 水島敏博, 富田恭司   | 野付湾におけるアマモ葉上の貝類-II. 分布と出現個体数の季節変化  |
| ⑩  | 1985 | 富田恭司, 水島敏博   | 野付湾におけるアマモ葉上の貝類-I. 出現種と主要3種の成長   |
| ⑪  | 1998 | 土田英治   | 根室湾から採集された上部浅海系の貝類の特性  |
| ⑫  | 2008 | 園田 武, 千葉 晋, 五嶋聖治, 山崎友資, 富川 光, 野別貴博                   | 平成19 (2007) 年度知床半島沿岸における浅海域生物相調査業務報告書, 3. 無脊椎動物相   |
| ⑬  | 2009 | 園田 武, 千葉 晋, 五嶋聖治, 山崎友資, 布村 昇, 駒井智幸, 富川 光, 伊藤 敦, 野別貴博 | 平成20 (2008) 年度知床半島沿岸における浅海域生物相調査業務報告書, iii. 無脊椎動物相   |
| ⑭  | 2010 | 園田 武, 千葉 晋, 五嶋聖治, 山崎友資, 布村 昇, 駒井智幸, 富川 光, 伊藤 敦, 野別貴博 | 平成21 (2009) 年度世界自然遺産生態系モニタリング調査業務報告書, 3) 無脊椎動物相  |
| ⑮  | 2011 | 野別貴博, 山崎友資   | 色丹島で確認された貝類  |

## 2. 北海道東部から報告された貝類

これまでに、北海道東部から、合計 307 種の貝類が記録された。ここでは、これまでに記録された全種類を整理・統合し、記述する。

**Phylum MOLLUSCA LINNAEUS, 1758 軟体動物門**  
**Class POLYPLACOPHORA BLAINVILLE, 1816 多板綱**  
**Order NEOLORICATA BERGENHAYN, 1955 新ヒザラガイ目**  
**Family LEPTOCHITONIDAE DALL, 1889 サメハダヒザラガイ科**

1. *Leptochiton assimilis* Thiele, 1909 エゾサメハダヒザラガイ  
Saito, 1994; 山崎・柏尾, 2011
2. *Deshayesiella curvata* (Pilsbry, 1892) カギヅメヒザラガイ  
Saito, 1994

**Family ISCHINOCHITONIDAE DALL, 1889 ウスヒザラガイ科**

3. *Tonicella squamigera* Thiele, 1909 コケラマダラヒザラガイ  
Saito, 1994
4. *Tonicella zotini* Yakovleva, 1952 ヒメマダラヒザラガイ  
Saito, 1994
5. *Tonicella granulata* Yakovleva, 1952 エゾマダラヒザラガイ  
Saito, 1994; 山崎・柏尾, 2011
6. *Tonicella beringensis lucida* Sirenko, 1974 ツヤマダラヒザラガイ  
Saito, 1994; 園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010
7. *Tonicella undocaerulea* Sirenko, 1973 アオスジヒザラガイ

- Saito, 1994
8. *Tonicella submarmorea* (Middendorff, 1847) マダラヒザラガイ  
Saito, 1994
  9. *Schizoplax brandtii* (Middendorff, 1847) セワケヒザラガイ  
Saito, 1994; 園田ら, 2010; 山崎・柏尾, 2011
  10. *Ischnochiton comptus* (Gould, 1859) ウスヒザラガイ  
園田ら, 2010
  11. *Ischnochiton hakodadensis* Pilsbry, 1893 ハコダテヒザラガイ  
石川, 1969; Saito, 1994; 園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 山崎・柏尾, 2011
  12. *Lepidozona (Tripoplax) albrechti* (Schrenck, 1861) エゾヤスリヒザラガイ  
Saito, 1994; 園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010; 山崎・柏尾, 2011
  13. *Lepidozona (Tripoplax) andrijaschevi* (Yokovleva, 1952) アラメヤスリヒザラガイ  
Saito, 1994
  14. *Lepidozona multigranosa* Sirenko, 1975 ホソスジヤスリヒザラガイ  
Saito, 1994

**Family MOPALIIDAE DALL, 1889 ヒゲヒザラガイ科**

15. *Mopalia schrencki* Thiele, 1909 ホソヒゲヒザラガイ  
Saito, 1994; 園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010
16. *Mopalia seta* Yakovleva, 1952 オオヒゲヒザラガイ  
Saito, 1994; 山崎・柏尾, 2011
17. *Mopalia middendorffii* (Schrenck, 1861) ナガヒゲヒザラガイ  
Saito, 1994
18. *Mopalia retifera* Thiele, 1909 ヒゲヒザラガイ  
石川, 1969
19. *Placiphorela borealis* Berry, 1917 キタノババガゼ  
Saito, 1994; 山崎・柏尾, 2011
20. *Placiphorela borealijaponica* Saito & Okutani, 1991 エゾババガゼ  
石川, 1969; Saito, 1994; 園田ら, 2010
21. *Amicula amiculata* (Pallas, 1787) オニヒゲヒザラガイ  
Okutani & Saito, 1987; Saito, 1994

**Family ACANTHOCHITONIDAE PILSBRY, 1893 ケハダヒザラガイ科**

22. *Cryptochiton stelleri* (Middendorff, 1847) オオバンヒザラガイ  
石川, 1969; 高丸, 1983; Saito, 1994; 園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010;  
野別・山崎, 2011; 山崎・柏尾, 2011

**Class GASTROPODA CUVIER, 1797 腹足綱**

**Order PATELLOGASTROPODA LINDBERG, 1986 カサガイ目**

**Family LEPETIDAE GRAY, 1840 シロガサガイ科**

23. *Lepeta caeca pacifica* Moskalev, 1978 シロガサガイ  
中野・小澤, 2006
24. *Cryptobranchia kuragiensis* (Yokoyama, 1920) クラギシロガサ  
横平・伊藤, 1967; 園田ら, 2010
25. *Limalepeta lima* Dall, 1918 スゲガサ  
Habe, 1958

**Family LOTTIIDAE GRAY, 1840 ユキノカサガイ科**



26. *Niveotectura pallida* (Gould, 1859) ユキノカサガイ  
Habe, 1958; 伊藤, 1963; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 鈴木, 2005; 中野・小澤, 2006;  
園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010; 野別・山崎, 2011; 山崎・柏尾, 2011
27. *Erginus sybaritica* (Dall, 1871) エゾノハナガサ  
Habe, 1958; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 中野・小澤, 2006; 園田ら, 2010
28. *Lottia cassis* (Eschscholtz, 1833) シロガイ  
Habe, 1958; 伊藤, 1963; 波部・伊藤, 1965; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 中野・小澤, 2006;  
園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010; 山崎・柏尾, 2011
29. *Lottia* sp. サラサシロガイ  
中野・小澤, 2006; 園田ら, 2010; 野別・山崎, 2011; 山崎・柏尾, 2011
30. *Lottia dorsuosa* (Gould, 1859) カモガイ  
山崎・柏尾, 2011
31. *Lottia kogamogai* Sasaki & Okutani, 1994 コガモガイ  
伊藤, 1963; 鈴木, 2005; 園田ら, 2008; 園田ら, 2009
32. *Lottia tenuisculpta* Sasaki & Okutani, 1994 コモレビコガモガイ  
園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 山崎・柏尾, 2011
33. *Lottia lindbergi* Sasaki & Okutani, 1994 オボロヅキコガモガイ  
中野・小澤, 2006; 園田ら, 2010
34. *Nipponacmea concinna* (Lischke, 1870) コウダカアオガイ  
伊藤, 1963
35. *Tectura emydia* (Dall, 1914) ベッコウシロガイ  
Habe, 1958; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010; 山崎・柏尾, 2011

**Order COCCULINIFORMIA HASZPRUNAR, 1987 ワタゾコシロガサ目**

**Family COCCULINIDAE DALL, 1882 ワタゾコシロガサ科**

36. *Cocculina japonica* Dall, 1907 ワタゾコシロガサ  
石山, 1974

**Order VETIGASTROPODA SALVINI-PLAWEN, 1980 古腹足目**

**Family FISSURELLIDAE FLEMING, 1822 スカシガイ科**

37. *Punctrella nobilis* A. Adams, 1860 コウダカスカシガイ  
伊藤, 1963; 横平・伊藤, 1967; 石川, 1969; 山崎・柏尾, 2011

**Family TROCHIDAE RAFINESQUE, 1815 ニシキウズガイ科**

38. *Calliostoma multiliratum* (Sowerby II, 1975) ニシキエビス  
伊藤, 1963
39. *Ginebis argenteonitens* form *hirasei* Is. Taki & Otsuka, 1943 ヒラセギンエビス  
延原, 1999
40. *Margarites helycinus pilsbryi* (Kuroda & Habe, 1952) エゾシタダミ  
Habe, 1958; 横平, 1967; 園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010; 山崎・柏尾, 2011
41. *Lirularia iridescens* (Schrenck, 1863) アコヤシタダミ  
園田ら, 2010
42. *Lirularia iridescens* (Schrenck, 1863) アコヤチグサ  
水島・富田, 1984; 富田・水島, 1984

**Family TURBINIDAE RAFINESQUE, 1815 サザエ科**

43. *Homalopoma sangarense* (Schrenck, 1862) ヤマザンショウ

- Habe, 1958; 伊藤, 1963; 富田・水島, 1984; 園田ら, 2010
44. *Homalopoma nocturnum* (Gould, 1861) サンショウガイ  
園田ら, 2010
45. *Homalopoma amussitatum* (Gould, 1861) エゾザンショウ  
Habe, 1958; 伊藤, 1963; 横平, 1967; 園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010

**Order DISCOPODA FISCHER, 1884 盤足目**  
**Family TURRITELLIDAE LOVEN, 1847 キリガイダマシ科**

46. *Turritella (Neohaustator) fortilirata* (Sowerby, 1914) エゾキリガイダマシ  
Habe, 1958; 伊藤, 1963; 横平・伊藤, 1967; 石山, 1974  
=*Neohaustator nipponica* (Yokoyama, 1920) ホソエゾキリガイダマシ  
石山, 1974

**Family BATILLARIIDAE THIELE, 1929 ウミニナ科**

47. *Batillaria cumingii* (Crosse, 1862) ホソウミニナ  
木下, 1935; Habe, 1958; 伊藤, 1963; 富田・水島, 1984; 五嶋, 1996

**Family LITTORINIDAE GRAY, 1840 タマキビ科**

48. *Lacuna (Lacuna) uchidai* (Habe, 1953) ウチダヘソカドタマキビ  
Habe, 1958; 園田ら, 2010; 山崎・柏尾, 2011
49. *Lacuna (Epheria) turrita* (A. Adams, 1861) チャイロタマキビ  
伊藤, 1963
50. *Lacuna (Epheria) decorata* (A. Adams, 1861) コウダカチャイロタマキビ  
木下, 1935; Habe, 1958; 横平・伊藤, 1967; 水島・富田, 1984; 富田・水島, 1984; 園田ら, 2008;  
園田ら, 2009; 園田ら, 2010; 山崎・柏尾, 2011
51. *Littorina (Littorina) squalida* Broderip & Sowerby, 1892 エゾタマキビ  
木下, 1935; Habe, 1958; 伊藤, 1963; 横平・伊藤, 1967; 大垣, 1983; 園田ら, 2008;  
園田ら, 2009; 園田ら, 2010; 野別・山崎, 2011; 山崎・柏尾, 2011
52. *Littorina (Littorina) brevicula* (Philippi, 1844) タマキビ  
Habe, 1958; 伊藤, 1963; 大垣, 1983; 園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010
53. *Littorina (Littorina) mandshurica* Schrenck, 1867 アツタマキビ  
伊藤, 1963; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 園田ら, 2008; 園田ら, 2009
54. *Littorina (Neritrema) sitkana* (Philippi, 1846) クロタマキビ  
木下, 1935; Habe, 1958; 伊藤, 1963; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 大垣, 1983; 鈴木, 2005;  
園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010; 野別・山崎, 2011; 山崎・柏尾, 2011

**Family BARLEEIDAE GRAY, 1857 チャツボ科**

55. *Barleeia angustata* (Pilsbry, 1901) チャツボ  
Habe, 1958; 水島・富田, 1984; 富田・水島, 1984; 園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010

**Family RISSOIDAE GRAY, 1847 リソツボ科**

56. *Alvania (Alvania) concinna* (A. Adams, 1861) タマツボ  
水島・富田, 1984; 富田・水島, 1984; 園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010

**Family FALSICINGULIDAE SLAVOSHEVSKAYA, 1976 ナタネツボ科**

57. *Falsicingula kurilensis* (Pilsbry, 1905) ナタネツボ

Habe, 1958; 山崎・柏尾, 2011

**Family POMATIOPSIDAE STIMPSON, 1865 イツマデガイ科**

58. *Cecina manchurica* A. Adams, 1861 クビキレガイモドキ  
富田・水島, 1984

**Family CAPULIDAE FLEMING, 1882 カツラガイ科**

59. *Trichotropis (Ariadnaria) insignis* (Middendorff, 1849) カゴメナワボラ  
Habe, 1958; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 石川, 1969; 山崎・柏尾, 2011  
60. *Trichotropis bicarinata* (Sowerby, 1825) ヒゲマキナワボラ  
Habe, 1958; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 石川, 1969

**Family CALYPTRAEIDAE LAMARCK, 1809 カリバガサガイ科**

61. *Crepidula grandis* Middendorff, 1849 エゾフネガイ  
Habe, 1958; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 石川, 1969; 石山, 1974; 土田, 1998;  
野別・山崎, 2011; 山崎・柏尾, 2011

**Family VELUTINIDAE GRAY, 1840 ハナヅトガイ科**

62. *Marsenia uchidai* (Habe, 1958) ウチダベッコウタマガイ  
Habe, 1958; 伊藤, 1963; 園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010; 野別・山崎, 2011;  
山崎・柏尾, 2011  
63. *Velutina (Velutella) plicatilis* (Müller, 1774) モモイロハナヅトガイ  
横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 富田・水島, 1984; 山崎・柏尾, 2011  
64. *Velutina (Velutella) cryptospira* Middendorff, 1849 ウスカワハナヅトガイ  
Habe, 1958; 山崎・柏尾, 2011  
65. *Velutina (Limneria) conica* Dall, 1886 セイタカハナヅトガイ  
Habe, 1958; 石川, 1969; 土田, 1998

**Family NATICIDAE FORBES, 1838 タマガイ科**

66. *Bulbus tenniculus* (Sowerby, 1915) クリガイ  
Habe, 1958; 横平・伊藤, 1967; 山崎・柏尾, 2011  
67. *Bulbus fragilis* (Leach, 1819) ウスカワクリガイ  
横平, 1967  
68. *Bulbus flavus elongates* Habe & Ito, 1965 ナガクリガイ  
波部・伊藤, 1965  
69. *Euspira pila* (Pilsbry, 1911) タマツメタ  
Habe, 1958; 伊藤, 1963; 横平・伊藤, 1967; 石川, 1969; 高丸, 1983; 高丸, 1985; 土田, 1998;  
園田ら, 2010; 野別・山崎, 2011  
= *Lunatia pila ovata* (Sowerby, 1914) セイタカタマツメタ  
横平, 1967  
70. *Euspira pallida* (Broderip & Sowerby, 1829) ウスイロタマツメタ  
石川, 1969; 石山, 1974  
71. *Glossaulax didyma* (Röding, 1798) ツメタガイ  
高丸, 1985; 鈴木, 2005  
72. *Cryptonatica janthostoma* (Deshayes, 1839) チシマタマガイ  
Habe, 1958; 伊藤, 1963; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 石川, 1969; 高丸, 1983; 高丸, 1985;

- 土田, 1998; 園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010
73. *Cryptonatica andoi* (Nomura, 1935) エゾタマガイ  
木下, 1935; 横平・伊藤, 1967; 高丸, 1985; 鈴木, 2005
74. *Cryptonatica hirasei* (Pilsbry, 1905) ヒラセタマガイ  
Habe, 1958; 伊藤, 1963; 横平・伊藤, 1967; 園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010;  
山崎・柏尾, 2011
75. *Natica aleutica* Dall, 1919 キタタマガイ  
横平, 1967; 高丸, 1985  
=*Natica russa* Gould, 1859 コシタカタマガイ  
Habe, 1958; 石山, 1974

**Family RANELLIDAE GRAY, 1854 フジツガイ科**

76. *Fusitriton oregonensis* (Redfield, 1848) アヤボラ  
Shikama, 1957; Habe, 1958; 伊藤, 1963; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 石川, 1969;  
石山, 1974; 高丸, 1983; 鈴木, 2005; 園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010;  
野別・山崎, 2011; 山崎・柏尾, 2011

**Order PTENOGLOSSA GRAY, 1853 翼舌目**

**Family CERITHIOPSIDAE BLAINVILLE, 1818 クリイロケシカニモリ科**

77. *Cerithiopsis stejnegeri* Dall, 1884 クリイロケシカニモリ  
園田ら, 2010

**Family EPITONIIDAE BERRY, 1910 イトカケガイ科**

78. *Acirsa (Acirsa) ochotensis* (Middendorff, 1849) オホーツクイトカケ  
石山, 1974

**Order NEOGASTROPODA WENZ, 1929 新腹足目**

**Family MURICIDAE RAFINESQUE, 1815 アッキガイ科**

79. *Ceratostoma inornatus* (Récluz, 1851) オウヨウラク  
Habe, 1958; 伊藤, 1963; 石川, 1969; 富田・水島, 1984; 土田, 1998
80. *Ceratostoma inornatus endermonis* (Smith, 1875) エゾヨウラク  
横平・伊藤, 1967; 園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010; 山崎・柏尾, 2011  
=*Pteropurpura (Pteropurpura) lumaria* (Yokoyama, 1926) カギヨウラク  
横平, 1967; 横平・伊藤, 1967
81. *Pteropurpura (Ocinebrellus) adunca* (Sowerby, 1834) イセヨウラク  
Habe, 1958
82. *Nucella lima* (Gmelin, 1791) チヂミボラ  
横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 鈴木, 2005; 園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010;  
野別・山崎, 2011; 山崎・柏尾, 2011  
=*Nucella lamellosa lamellosa* (Gmelin, 1791) ヒレチヂミボラ  
Habe, 1958; 石川, 1969  
=*Nucella freycineti* (Deshayes, 1841) エゾチヂミボラ  
Habe, 1958; 伊藤, 1963; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967  
=*Nucella freycineti alabaster* (Pilsbry, 1907) ナガチヂミボラ  
横平, 1967; 横平・伊藤, 1967  
=*Nucella lamellosa hormica* Dall, 1915 コシタカチヂミボラ  
伊藤, 1963; 石川, 1969

83. *Trophon scitula emphaticus* Habe & Ito, 1965 ナミジワツノオリイレ  
波部・伊藤, 1965
84. *Boreotrophon candelabrum* (Reeve, 1847) ツノオリイレ  
伊藤, 1963; 横平・伊藤, 1967; 土田, 1998; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010; 山崎・柏尾, 2011  
=*Boreotrophon beringi* (Dall, 1902) エゾツノオリイレ  
伊藤, 1963; 横平, 1967; 石川, 1969
85. *Boreotrophon beringi* Dall, 1902 ベーリングツノオリイレ  
Habe, 1958
86. *Boreotrophon flos* Okutani, 1964 ヤエバツノオリイレ  
横平・伊藤, 1967
87. *Trophonopsis scitula* Dall, 1907 チヂミツノオリイレ  
土田, 1998
88. *Boreotrophon alaskanus* Dall, 1902 シロハシツノオリイレ  
=*Boreotrophon alaskanus* Dall, 1902 アラスカツノオリイレ  
Habe, 1958; 横平・伊藤, 1967; 石川, 1969; 石山, 1974
89. *Boreotrophon paucicostatus* Habe & Ito, 1965 テントウキツノオリイレ  
波部・伊藤, 1965

**Family COLUMBELLIDAE SWAINSON, 1840 フトコロガイ科**

90. *Mitrella burchardi* (Dunker, 1877) コウダカマツムシ  
木下, 1935; Habe, 1958; 伊藤, 1963; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; Nakao, 1978;  
富田・水島, 1984; 園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010; 山崎・柏尾, 2011
91. *Amphissa columbiana* Dall, 1916 ニクイロマツムシ  
横平・伊藤, 1967
92. *Mitrella bicincta* Gould, 1860 ムギガイ  
横平・伊藤, 1967
93. *Mitrella (Indomitrella) conspersa* (Gaskoin, 1852) フクレシラゲガイ  
Habe, 1958

**Family NASSARIIDAE IREDALE, 1916 ムシロガイ科**

94. *Reticunassa festiva* (Powy, 1833) アラムシロ  
五嶋, 1996
95. *Reticunassa multigranosa* (Dunker, 1847) ヒメムシロ  
Habe, 1958; 鈴木, 1963; 富田・水島, 1984
96. *Reticunassa fratercula* (Dunker, 1860) クロスジムシロ  
Habe, 1958; 園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010  
=*Nassa hypolia* Pilsbry, 1859 アオモリムシロ  
木下, 1935; 鈴木, 1963; 富田・水島, 1984

**Family BUCCINIDAE RAFINESQUE, 1815 エゾバイ科**

97. *Beringius (Beringion) polynematicus* Pilsbry, 1907 ナガバイ  
黒田, 1936; 横平・伊藤, 1967
98. *Volutopsius simplex* Dall, 1907 クリイロカミオボラ  
黒田, 1936; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967
99. *Volutopsius (Habevolutopsius) hirasei* Pilsbry, 1907 リクゼンボラ  
石山, 1974
100. *Pyrulofusus deformis deformis* (Reeve, 1847) ナシボラ  
黒田, 1936

101. *Pyrulofusus dexius japonicus* Habe & Ito, 1980 ミギマキタテゴトナシボラ  
横平・伊藤, 1967; 波部・伊藤, 1980
102. *Pseudoliomesus ooides* (Middendorff, 1848) タマゴバイ  
石川, 1969
103. *Ancistrolepis grammata* (Dall, 1907) ワダチバイ  
Shikama, 1957; 波部・伊藤, 1968; 園田ら, 2009
104. *Clinopegma unicum damon* (Dall, 1907) ヤゲンバイ  
波部・伊藤, 1970
105. *Mohnia (Retimohnia) yanamii* (Yokoyama, 1926) ホソバイ  
横平・伊藤, 1967
106. *Colus esychus* (Dall, 1907) ツムバイ  
黒田, 1936; Shikama, 1957; 石川, 1969; 石山, 1974
107. *Colus (Aulacofusus) periscelidus* (Dall, 1891) ウスバヒモマキツムバイ  
黒田, 1936
108. *Colus (Aulacofusus) periscelidus* (Dall, 1891) マキミゾツムバイ  
石川, 1969
109. *Plicifusus kroyeri* (Möller, 1842) オオシワバイ  
横平・伊藤, 1967
110. *Plicifusus plicatus* (A. Adams, 1863) オオエゾシワバイ  
黒田, 1936; Habe, 1958; 伊藤, 1963; 横平・伊藤, 1967; 石川, 1969  
=*Plicifusus polypleuratus* (Dall, 1907) シワバイ  
黒田, 1936; 石川, 1969
111. *Plicifusus (Retifusus) rhyssoides* Dall, 1918 リクゼンシワバイ  
Habe, 1958; 横平・伊藤, 1967; 石川, 1969; 石山, 1974
112. *Plicifusus rhyssus* (Dall, 1907) ネジケシワバイ  
Habe, 1958
113. *Plicifusus (Retifusus) brunneus* (Dall, 1877) チャイロシワバイ  
Habe, 1958; 横平・伊藤, 1967; 石川, 1969
114. *Neptunea polycostata* Scarlato, 1952 エゾボラ  
鈴木, 1963; 横平・伊藤, 1967
115. *Neptunea intersculpta* (Sowerby III, 1899) エゾボラモドキ  
Habe, 1958; 横平・伊藤, 1967; 波部・伊藤, 1968; 石山, 1974
116. *Neptunea frater* (Pilsbry, 1901) コエゾボラモドキ  
石山, 1974
117. *Neptunea (Neptunea) amianta* (Dall, 1890) マルエゾボラ  
黒田, 1936
118. *Neptunea constricta* (Dall, 1907) チヂミエゾボラ  
石山, 1974
119. *Neptunea heros* (Gray, 1850) アツエゾボラ  
黒田, 1936; 伊藤, 1963; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 野別・山崎, 2011
120. *Neptunea vinosa* (Dall, 1919) フジイロエゾボラ  
横平・伊藤, 1967; 石山, 1974
121. *Neptunea elegantula* Ito & Habe, 1965 セイタカエゾボラ  
伊藤・波部, 1965
122. *Neptunea (Barbitonia) arthritica* (Bernardi, 1857) ヒメエゾボラ  
木下, 1935; Habe, 1958; 伊藤, 1963; 横平・伊藤, 1967; 高丸, 1983; 園田ら, 2009;  
園田ら, 2010; 山崎・柏尾, 2011
123. *Neptunea (Neptunea) insularis insularis* (Dall, 1895) ヤセエゾボラ  
石山, 1974
124. *Neptunea (Neptunea) lyrata* (Gmelin, 1789) ウネエゾボラ

- Shikama, 1957; Habe, 1958
125. *Buccinum zelotes* Dall, 1907 イジケシライトマキ  
Habe, 1958
126. *Buccinum isaotakii* Kira, 1959 シライトマキバイ  
石山, 1974
127. *Buccinum nipponense* Dall, 1907 ヒメシライトマキ  
横平・伊藤, 1967; 石山, 1974
128. *Buccinum opisthoplectum* Dall, 1907 クビレバイ  
横平, 1967; 横平・伊藤, 1967
129. *Buccinum elatior* Middendorff, 1849 チヂワエゾバイ  
石川, 1969
130. *Buccinum verkruzeni* Kobelt, 1883 オオカラフトバイ  
横平・伊藤, 1967; 石川, 1969
131. *Buccinum middendorffi* Verkrutzen, 1882 エゾバイ  
Habe, 1958; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 高丸, 1983; 野別・山崎, 2011; 山崎・柏尾, 2011
132. *Buccinum rhodium* Dall, 1919 ロジウムバイ  
Shikama, 1957
133. *Buccinum rausicum* Shikama, 1952 ラウスバイ  
Shikama, 1957; 波部・伊藤, 1968
134. *Buccinum ochotense* (Middendorff, 1848) オホーツクバイ  
Habe, 1958; 鈴木, 1963; 横平, 1967; 波部・伊藤, 1968; 鈴木, 2005; 園田ら, 2008;  
園田ら, 2009; 園田ら, 2010
135. *Buccinum mirandum* Smith, 1875 コエゾバイ  
鈴木, 1963; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010; 野別・山崎, 2011;  
山崎・柏尾, 2011  
= *Buccinum polaris mirandum* (Smith, 1875) ヒメエゾバイ  
Habe, 1958; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 石川, 1969  
= *Buccinum polare schrenckii* Verkrutzen, 1882 マルエゾバイ  
横平, 1967; 横平・伊藤, 1967
136. *Buccinum chishimanum nux* Habe & Ito, 1965 ウリザネエゾバイ  
波部・伊藤, 1965
137. *Buccinum bombycinum* Dall, 1907 ウスカワバイ  
石山, 1974
138. *Buccinum chishimanum* Pilsbry, 1904 チシマバイ  
Habe, 1958; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010;  
野別・山崎, 2011; 山崎・柏尾, 2011
139. *Buccinum japonicum* A. Adams, 1861 コビトクビレバイ  
波部・伊藤, 1965; 横平・伊藤, 1967; 石川, 1969
140. *Buccinum aniwanum* (Dall, 1907) アニワバイ  
Shikama, 1957; 波部・伊藤, 1968
141. *Buccinum osagawai* Habe & Ito, 1968 オサガワバイ  
波部・伊藤, 1968
142. *Neoberingius frielei miyauchii* Habe & Ito, 1972 ミヤウチヒメナガバイ  
波部・伊藤, 1971
143. *Buccinum kinukatsugi* Habe & Ito, 1968 キヌカツギバイ  
波部・伊藤, 1965; 波部・伊藤, 1968
144. *Buccinum rossicum* Dall, 1907 ロシアバイ  
Shikama, 1957; Habe, 1958
145. *Reticubuccinum wakuii* (Habe & Ito, 1980) ワクイバイ  
伊藤・波部, 1980
146. *Volutharpa perryi ainos* (Kuroda & Kinoshita, 1956) クマモスソガイ

- 波部・伊藤, 1968; 波部・伊藤, 1980
147. *Volutharpa ampullacea* (Middendorff, 1848) ヒメモスソガイ  
Habe, 1958; 鈴木, 1963; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 石川, 1969; 園田ら, 2008;  
園田ら, 2009; 園田ら, 2010; 野別・山崎, 2011; 山崎・柏尾, 2011
148. *Volutharpa perryi* (Jay, 1855) モスソガイ  
園田ら, 2010

**Family VOLUTIDAE RAFINESQUE, 1815 ガクフボラ科**

149. *Fulgoraria* (*Nipponomelon*) *prevostiana* (Crosse, 1878) ホンヒタチオビ  
石山, 1974
150. *Fulgoraria* (*Nipponomelon*) *magna* Kuroda & Habe, 1950 オオヒタチオビ  
石山, 1974

**Family OLIVIDAE LATREILLE, 1825 マクラガイ科**

151. *Olivella fulgurata* (Adams & Reeve, 1850) ムシボタル  
石山, 1974

**Family VOLUTOMITRIDAE GRAY, 1854 フデヒタチオビ科**

152. *Volutomitra alaskana* Dall, 1902 フデヒタチオビ  
石山, 1974

**Family CANCELLARIIDAE FORBES & HANLEY, 1851 コロモガイ科**

153. *Admete viridula* (Fabricius, 1780) エゾコロモ  
Habe, 1958; 横平・伊藤, 1967

**Family TURRIDAE SWAINSON, 1840 クダマキガイ科**

154. *Suavodrillia declivis* (Martens, 1888) トガリクダマキガイ  
Habe, 1958; 鈴木, 1963; 園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010
155. *Aforia diomedea* Bartsch, 1945 ヤゲンイグチ  
Habe, 1958; 横平・伊藤, 1967; 石山, 1974
156. *Antiplanes contraria* (Yokoyama, 1926) ヒダリマキイグチ  
横平・伊藤, 1967; 石山, 1974
157. *Rectiplanes sanctioannis* (E. A. Smith, 1875) エゾイグチガイ  
Habe, 1958; 横平・伊藤, 1967
158. *Ophiodermella erosa* (Schrenck, 1862) エゾシャジクガイ  
Habe, 1958; 石川, 1969
159. *Ophiodermella akkeshiensis* Habe, 1958 アッケシシャジク  
Habe, 1958
160. *Oenopota okudai* Habe, 1958 オクダフタマンジ  
Habe, 1958
161. *Oenopota hanazakiensis* Habe, 1958 ハナサキフタマンジ  
Habe, 1958
162. *Obesotoma tenuilirata* (Dall, 1871) チャイロフタマンジ  
横平・伊藤, 1967
163. *Obesotoma uchidai* Habe, 1958 ウチダフタマンジ  
Habe, 1958
164. *Propebela* (*Propebela*) *exquisita* Bartsch, 1941 コウシフタマンジ



石川, 1969

165. *Philbertia (Pseudodaphnella) leuckarti* (Dunker, 1860) クリイロフタマンジ  
Habe, 1958; 鈴木, 1963; 横平・伊藤, 1967

166. *Philbertia (Pseudodaphnella) granicosta* (Reeve, 1846) ニクイロフタマンジ  
Habe, 1958; 鈴木, 1963

**Order HETEROBRANCHIA GRAY, 1840 異旋目**

**Family PYRAMIDELLIDAE GRAY, 1840 トウガタガイ科**

167. *Derjuginella rufofasciata* (E. A. Smith, 1875) キンスジクチキレ  
Habe, 1958; 石川, 1969; 土田, 1998

168. *Menestho akkeshiensis* Habe, 1958 アッケシヒサゴクチキレ  
Habe, 1958

169. *Odostomia fujitanii* Yokoyama, 1927 フジタニクチキレモドキ  
土田, 1998

170. *Marginodostomia hilgendorfi* Clessin, 1900 オリイレクチキレモドキ  
富田・水島, 1984

**Family RETUSIDAE THIELE, 1926 ヘコミツララガイ科**

171. *Retusa (Decolifer) insignis* (Plisbry, 1904) コメツブガイ  
富田・水島, 1984

**Family PHILINIDAE GRAY, 1850 キセワタガイ科**

172. *Philine argentata* Gould, 1859 キセワタガイ  
土田, 1998

173. *Aglaia ezoensis* Baba, 1957 エゾキセワタ  
馬場, 1957

**Order OPISTHOBRANCHIA MILNE-EDWARDS, 1848 囊舌目**

**Family HERNAEIDAE ミドリアマモウミウシ科**

174. *Ercolania boodlea* (Baba, 1938) アリモウミウシ  
園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010

**Order ANASPIDEA アメフラシ目**

**Family APLYSIIDAE アメフラシ科**

175. *Aplysia (Varria) kurodai* (Baba, 1937) アメフラシ  
園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010

176. *Aplysia (Aplysia) juliana* Quoy & Gaimard, 1832 アマクサアメフラシ  
馬場, 1957

177. *Aplysia (Pruvotaplysia) parvula* Guilding in Morch, 1863 クロヘリアアメフラシ  
園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010

**Order GYMNOSOMATA 裸殻翼足目**

**Family CLIONIDAE ハダカカメガイ科**

178. *Chiopsis krohnii* Troschel, 1854 タルダカハダカカメガイ  
鈴木, 2005

179. *Clione limacina limacina* (Phipps, 1774) ハダカカメガイ  
鈴木ら, 2005

**Order NUDIBRANCHIA 裸鰓目**

**Family GONIODORIDIDAE ネコジタウミウシ科**

180. *Triopha carpinteri* (Stearns, 1873) ハナサキウミウシ  
園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010

**Family VAYSSIEREIDAE オカダウミウシ科**

181. *Vayssierea felis* (Clingwood, 1881) オカダウミウシ  
馬場, 1957

**Family ONCHIDORIDIDAE ラメリウミウシ科**

182. *Acanthodoris pilosa* (Abildgaard, 1789) トゲウミウシ  
馬場, 1957

**Family TRITONIIDAE ホクヨウウミウシ科**

183. *Tritonia diomedea* Bergh, 1894 ホクヨウウミウシ  
園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010

**Family DORIDIDAE ドーリス科**

184. *Diaulula sandiegensis* (Cooper, 1862) エゾカスリウミウシ  
馬場, 1957

**Family AEOLIDIIDAE オオミノウミウシ科**

185. *Aeolidia papillosa* (Linnaeus, 1761) オオミノウミウシ  
馬場, 1957

**Family FASELINIDAE ヨツスジミノウミウシ科**

186. *Hermisenda crassicornis* (Eschscholtz, 1831) エムラミノウミウシ  
園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010

187. *Stiliger (Ercolania) akkeshiensis* Baba, 1957 エゾタマミルウミウシ  
馬場, 1957

188. *Lamellidoris (Lamellidoris) fusca* (Müller, 1776) ラメリウミウシ  
馬場, 1957

189. *Trochuina tetr aquetra* (Pallas, 1783) オオバンハナガサウミウシ  
馬場, 1968

190. *Dirona akkeshiensis* Volodchenko, 1941 アケボノウミウシ  
馬場, 1957

191. *Acanthodoris uchidai* Baba, 1957 ウチダウミウシ  
馬場, 1957

192. *Coryphella athadona* Bergh, 1875 コザクラミノウミウシ  
馬場, 1957; 馬場, 1987; 園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010

**Order BASOMMATOPHORA CUVIER, 1817 基眼目**

**Family SIPHONARIIDAE GARY, 1840 カラマツガイ科**

193. *Siphonacmea oblongata* (Yokoyama, 1926) キタノカラマツガイ  
Habe, 1958; Toyohara et al., 2001

**Class SCAPHOPODA BROWN, 1862 堀足綱**

**Order DENTALIIDA DACOSTA, 1776 ツノガイ目**

**Family GADILINIDAE CHISTIKOV, 1975 ツノガイ科**

194. *Siphonodentalium okudai* Habe, 1953 キタノクチキレツノガイ  
Habe, 1955; 土田, 1998

**Class BIVALVIA LINNAEUS, 1758 二枚貝綱**

**Order NUCULOIDA DALL, 1889 クルミガイ目**

**Family NUCULIDAE GRAY, 1824 クルミガイ科**

195. *Leionucula tenuis* (Montagu, 1808) コグルミガイ  
Habe, 1955; 鈴木, 1963; 石川, 1969; 石山, 1974  
196. *Acila divaricata vigilia* Schenck, 1936 カラフトキララ  
石山, 1974  
197. *Acila (Truncacila) insignis* (Gould, 1861) キララガイ  
鈴木, 1963; 石山, 1974; 土田, 1998; 鈴木, 2005

**Family NUCULANIDAE H. & A. ADAMS, 1858 シワロウバイ科**

198. *Nuculana pernula* (Müller, 1771) ホンシワロウバイ  
Habe, 1955  
199. *Nuculana (Robaia) robai* (Kuroda, 1929) チリロウバイ  
石山, 1974  
200. *Nuculana (Thestylea) yokoyamai yokoyamai* Kuroda, 1934 アラボリロウバイ  
石山, 1974  
201. *Jupiteria (Saccella) gordonis* (Yokoyama, 1920) ゴルドンソデガイ  
石山, 1974  
202. *Yoldia amygdalea* (Valenciennes, 1846) スモモソデガイ  
石山, 1974  
203. *Yoldia (Cnesterium) seminuda* Dall, 1871 キタノフリソデガイ  
石川, 1969  
204. *Yoldia (Cnesterium) notabilis* Yokoyama, 1922 フリソデガイ  
Habe, 1955; 横平・伊藤, 1967; 高丸, 1983  
205. *Yoldia (Cnesterium) johanni* Dall, 1925 エゾソデガイ  
Habe, 1955; 横平・伊藤, 1967; 石山, 1974; 土田, 1998  
206. *Magayoldia thraciaeformis* (Storer, 1838) フネソデガイ  
石山, 1974

**Order ARCOIDA STOLICZKA, 1871 フネガイ目**

**Family ARCIDAE LAMARCK, 1809 フネガイ科**

207. *Arca boucardi* Jousseau, 1894 コベルトフネガイ  
木下, 1935; Habe, 1955; 鈴木, 1963; 横平・伊藤, 1967; 石川, 1969; 鈴木, 2005; 園田ら, 2009;  
園田ら, 2010; 野別・山崎, 2011

**Family LIMOPSIDAE DALL, 1895 シラスナガイ科**

208. *Limopsis uwadokoi* Oyama, 1951 ミノシラスナガイ  
石山, 1974

**Family GLYCYMERIDIDAE NEWTON, 1916 タマキガイ科**

209. *Glycymeris imperialis* Kuroda, 1934 ミタマキガイ  
石山, 1974
210. *Glycymeris yessoensis* (Sowerby, 1889) エゾタマキ  
Habe, 1955; 鈴木, 1963; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 土田, 1998; 鈴木, 2005; 園田ら, 2008;  
園田ら, 2009; 園田ら, 2010

**Order MYTILOIDA FERUSSAC, 1822 イガイ目**

**Family MYTILIDAE REFINESQUE, 1815 イガイ科**

211. *Mytilus galloprovincialis* Lamarck, 1819 ムラサキイガイ  
Habe, 1955; 横平・伊藤, 1967; 鈴木, 2005; 園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010;  
野別・山崎, 2011; 山崎・柏尾, 2011
212. *Mytilus trossulus* Gould, 1850 キタノムラサキイガイ  
園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010
213. *Mytilus coruscus* Gould, 1861 イガイ  
横平・伊藤, 1967; 鈴木, 2005; 園田ら, 2010; 山崎・柏尾, 2011
214. *Mytilus (Crenomytilus) grayanus* Dunker, 1853 エゾイガイ  
木下, 1935; Habe, 1955; 鈴木, 1963; 横平・伊藤, 1967; 園田ら, 2008; 園田ら, 2009;  
園田ら, 2010
215. *Modiolus kurilensis* Bernard, 1983 エゾヒバリガイ  
木下, 1935; Habe, 1955; 鈴木, 1963; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 石川, 1969; 石山, 1974;  
鈴木, 2005; 園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010; 野別・山崎, 2011; 山崎・柏尾, 2011
216. *Musculus niger* (Gray, 1824) クロタマエガイ  
横平・伊藤, 1967
217. *Musculus laevigatus* (Gray, 1824) ハブタエタマエガイ  
Habe, 1955; 鈴木, 1963; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 石川, 1969; 土田, 1998; 園田ら, 2010;  
山崎・柏尾, 2011
218. *Musculista senhousia* (Benson, 1842) ホトトギスガイ  
木下, 1935; Habe, 1955; Nakao, 1978; 富田・水島, 1984; 園田ら, 2008; 園田ら, 2009;  
園田ら, 2010
219. *Adula schmidtii* (Schrenck, 1867) マユイガイ  
横平・伊藤, 1967
220. *Adula falcatoides* Habe, 1955 チヂミマユイガイ  
Habe, 1955

**Order OSTREOIDA FERUSSAC, 1822 カキ目**

**Family PECTINIDAE WILKES, 1810 イタヤガイ科**

221. *Chlamys (Chlamys) islandica islandica* (Müller, 1776) オーロラニシキ  
石川, 1969
222. *Chlamys (Chlamys) islandica erythrocomata* (Dall, 1907) カミオニシキ  
横平・伊藤, 1967
223. *Chlamys (Chlamys) islandica hindsi* (Carpenter, 1864) トバニシキ  
石川, 1969; 石山, 1974
224. *Chlamys (Azumapecten) farreri nipponensis* (Kuroda, 1932) アズマニシキガイ

鈴木, 2005

225. *Chlamys (Azumapecten) farreri akazara* (Kuroda, 1932) アカザラ

野別・山崎, 2011; 山崎・柏尾, 2011

226. *Swiftopecten swiftii* (Bernardi, 1858) エゾキンチャク

木下, 1935; Habe, 1955; 鈴木, 1963; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 石川, 1969; 鈴木, 2005; 園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010; 野別・山崎, 2011; 山崎・柏尾, 2011

227. *Mizuhopecten yessoensis* (Jay, 1857) ホタテガイ

木下, 1935; Habe, 1955; 鈴木, 1963; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 土田, 1998; 鈴木, 2005; 園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010; 野別・山崎, 2011; 山崎・柏尾, 2011

228. *Parvamussium alaskense* (Dall, 1871) アラスカニシキ

Habe, 1955; 横平・伊藤, 1967; 石山, 1974

**Family ANOMIIDAE RAFINESQUE, 1815 ナミマガシワ科**

229. *Anomia chinensis* Philippi, 1849 ナミマガシワ

鈴木, 1963; 園田ら, 2008; 園田ら, 2009

230. *Monia macroschisma* (Deshayes, 1839) ナミマガシワモドキ

Habe, 1955; 鈴木, 1963; 横平・伊藤, 1967; 石川, 1969; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010

**Family OSTREIDAE WILKES, 1810 イタボガキ科**

231. *Crassostrea gigas* (Thunberg, 1793) マガキ

木下, 1935; Habe, 1955; 鈴木, 1963; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 鈴木, 2005; 山崎・柏尾, 2011

232. *Crassostrea nippona* (Seki, 1934) イワガキ

園田ら, 2009; 園田ら, 2010; 山崎・柏尾, 2011

**Order VENEROIDA H. & A. ADAMS, 1856 マルスダレガイ目**

**Family THYASIRIDAE DALL, 1900 ハナシガイ科**

233. *Thyasira tokunagai* Kuroda & Habe, 1961 ハナシガイ

Habe, 1955

234. *Adontorhina subquadrata* (A. Adams, 1862) ユキヤナギガイ

Habe, 1955; 土田, 1998

**Family UNGULINIDAE H. & A. ADAMS, 1857 フタバシラガイ科**

235. *Felaniella usta* (Gould, 1861) ウソシジミ

Habe, 1955; 鈴木, 1963; 土田, 1998

236. *Diplodonta asperoides* Nomura, 1932 ヒラシオガマ

石山, 1974

**Family TURTONIIDAE CLARK, 1855 ノミハマグリ科**

237. *Turtonia minuta* (Fabricius, 1780) ノミハマグリ

Habe, 1955; 園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010; 山崎・柏尾, 2011

**Family CARDITIDAE FLEMING, 1828 トマヤガイ科**

238. *Cyclocardia crebricostata* (Krause, 1885) オオマルフミガイ

横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 土田, 1998

239. *Cyclocardia erimoensis* (Tiba, 1972) クマアサリ

- 石山, 1974  
240. *Cyclocardia ferruginea* (Clessin, 1888) クロマルフミガイ  
石山, 1974  
241. *Cyclocardia crassidens* (Broderip & Sowerby, 1829) カガミマルフミガイ  
横平・伊藤, 1967  
242. *Cyclocardia (Crassicardia) crassidens* (Broderip & Sowerby, 1829) アラスジマルフミ  
Habe, 1955; 鈴木, 1963; 横平・伊藤, 1967; 石川, 1969; 野別・山崎, 2011

**Family ASTARTIDAE D'ORBIGNY, 1844 エゾシラオガイ科**

243. *Tridonta borealis* Schumacher, 1817 エゾシラオ  
石山, 1974  
244. *Tridonta (Toridonta) bennetti* (Dall, 1903) コエゾシラオガイ  
鈴木, 1963  
245. *Tridonta alaskensis* (Dall, 1903) アラスカシラオ  
石山, 1974  
246. *Tridonta filatovae* (Habe, 1964) スダレシラオガイ  
横平・伊藤, 1967; 石川, 1969

**Family CARDIIDAE LAMARCK, 1809 ザルガイ科**

247. *Clinocardium nuttallii* (Conrad, 1837) オオイシカゲガイ  
Habe, 1955  
248. *Clinocardium californiense* (Deshayes, 1839) エゾイシカゲガイ  
木下, 1935; Habe, 1955; 鈴木, 1963; 横平・伊藤, 1967; 高丸, 1983; 土田, 1998; 鈴木, 2005;  
園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010; 野別・山崎, 2011; 山崎・柏尾, 2011  
= *Clinocardium californiense* (Deshayes, 1839) ホソスジイシカゲガイ  
Habe, 1955; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 石川, 1969  
249. *Clinocardium ciliatum* (Fabricius, 1780) コケライシカゲガイ  
鈴木, 1963; 石川, 1969; 石山, 1974

**Family MACTRIDAE LAMARCK, 1809 バカガイ科**

250. *Mactra chinensis* Philippi, 1846 バカガイ  
木下, 1935; Habe, 1955; 鈴木, 1963; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 高丸, 1983; 高丸, 1985;  
鈴木, 2005; 園田ら, 2010; 野別・山崎, 2011  
251. *Yagudinella notabilis* (Sowerby III, 1915) アリソトリガイ  
鈴木, 1963  
252. *Pseudocardium sachalinense* (Schrenck, 1862) ウバガイ  
木下, 1935; Habe, 1955; 鈴木, 1963; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 高丸, 1983; 高丸, 1985;  
鈴木, 2005; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010; 野別・山崎, 2011; 山崎・柏尾, 2011  
253. *Spisula polynyma* Stimpson, 1860 ナガウバガイ  
Habe, 1955; 鈴木, 1963; 横平, 1967; 土田, 1998; 園田ら, 2010  
254. *Ratellops pulchellus* (Adams & Reeve, 1850) チヨノハナガイ  
Habe, 1955; 鈴木, 1963; 横平・伊藤, 1967; 石川, 1969; 土田, 1998

**Family MESODESMATIDAE GRAY, 1840 チドリマスオガイ科**

255. *Coecella chinensis* Deshayes, 1855 クチバガイ  
Habe, 1955

**Family TELLINIDAE WILKES, 1810 ニッコウガイ科**

256. *Megangulus venulosa* (Schrenck, 1861) サラガイ  
Habe, 1955; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 高丸, 1983; 高丸, 1985; 園田ら, 2010;  
野別・山崎, 2011
257. *Megangulus luteus* (Wood, 1828) ベニサラガイ  
Habe, 1955; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 高丸, 1983; 高丸, 1985; 鈴木, 2005;  
野別・山崎, 2011
258. *Megangulus zyonensis* (Hatai & Nisiyama, 1939) アラスジサラガイ  
Habe, 1955; 鈴木, 1963; 高丸, 1983; 高丸, 1985; 園田ら, 2010
259. *Cadella lubrica* (Gould, 1861) トバザクラガイ  
鈴木, 1963; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 土田, 1998
260. *Macoma calcarea* (Gmelin, 1791) ケショウシラトリ  
Habe, 1955; 鈴木, 1963; 横平・伊藤, 1967; 石川, 1969; 石山, 1974; 高丸, 1983; 土田, 1998
261. *Macoma middendorffi* Dall, 1886 セイタカシラトリ  
横平・伊藤, 1967
262. *Macoma incongrua* (Martens, 1865) ヒメシラトリ  
木下, 1935; Habe, 1955; 鈴木, 1963; 五嶋, 1996; 園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010;  
山崎・柏尾, 2011
263. *Macoma (Macoma) moesta* (Deshayes, 1855) ソトオリシラトリ  
横平・伊藤, 1967
264. *Macoma sectior* Oyama, 1950 サギガイ  
園田ら, 2010
265. *Macoma (Macoma) nipponica* (Tokunaga, 1906) ニッポンシラトリ  
鈴木, 1963
266. *Heteromacoma irus* (Hanley, 1845) シラトリモドキ  
鈴木, 1963

**Family SEMELIDAE STOLICZKA, 1870 アサジガイ科**

267. *Theora fragilis* (A. Adams, 1855) シズクガイ  
鈴木, 1963

**Family PSAMMOBIIDAE FLEMING, 1818 シオサザナミガイ科**

268. *Gobraeus kazusensis* (Yokoyama, 1922) エゾマスオ  
鈴木, 1963
269. *Nuttallia commoda* (Yokoyama, 1925) ナガイソシジミ  
横平・伊藤, 1967
270. *Nuttallia japonica* (Reeve, 1857) イソシジミ  
木下, 1935; 横平・伊藤, 1967; 鈴木, 2005
271. *Nuttallia ezonis* Kuroda & Habe, 1955 エゾイソシジミ  
Habe, 1955; 鈴木, 1963; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 土田, 1998; 園田ら, 2010;  
野別・山崎, 2011

**Family SOLENIDAE LAMARCK, 1809 マテガイ科**

272. *Solen krusensternii* Schrenck, 1867 エゾマテ  
Habe, 1955; 鈴木, 1963; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 高丸, 1983; 高丸, 1985; 土田, 1998;  
園田ら, 2010; 野別・山崎, 2011

**Family PHARIDAE H. & A. ADAMS, 1858 ユキノアシタガイ科**

273. *Siliqua alta* (Broderip & Sowerby, 1829) オオミゾガイ  
Habe, 1955; 鈴木, 1963; 波部, 1965; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 高丸, 1983; 高丸, 1985;  
土田, 1998; 鈴木, 2005; 園田ら, 2010; 野別・山崎, 2011

**Family VENERIDAE RAFINESQUE, 1815 マルスダレガイ科**

274. *Liocyma aniwana* Dall, 1907 アニワハマグリ  
Habe, 1955
275. *Mercenaria stimpsoni* (Gould, 1861) ビノスガイ  
Habe, 1955; 鈴木, 1963; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 高丸, 1983; 鈴木, 2005; 園田ら, 2010;  
野別・山崎, 2011
276. *Callithaca adamsi* (Reeve, 1863) エゾヌノメアサリ  
木下, 1935; Habe, 1955; 鈴木, 1963; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 石川, 1969; 高丸, 1983;  
土田, 1998; 園田ら, 2008; 園田ら, 2009
277. *Protothaca euglypta* (Sowerby, 1914) ヌノメアサリ  
Habe, 1955; 鈴木, 1963; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 鈴木, 2005; 園田ら, 2010;  
野別・山崎, 2011; 山崎・柏尾, 2011
278. *Ruditapes philippinarum* (Adams & Reeve, 1850) アサリ  
木下, 1935; Habe, 1955; 鈴木, 1963; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 五嶋, 1996; 土田, 1998;  
鈴木, 2005; 園田ら, 2008; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010; 野別・山崎, 2011; 山崎・柏尾, 2011
279. *Liocyma fluctuosum* (Gould, 1841) エゾハマグリ  
鈴木, 1963; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 石川, 1969; 高丸, 1983; 高丸, 1985; 土田, 1998;  
野別・山崎, 2011
280. *Callista brevisiphonata* (Carpenter, 1864) エゾワスレ  
Habe, 1955; 鈴木, 1963; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 石川, 1969; 石山, 1974; 高丸, 1983;  
高丸, 1985; 土田, 1998; 山崎・柏尾, 2011
281. *Saxidomus purpurata* (Sowerby, 1852) ウチムラサキ  
鈴木, 1963; 横平・伊藤, 1967; 山崎・柏尾, 2011

**Order MYOIDA GOLDFUSS, 1820 オオノガイ目**

**Family MYIDAE LAMARCK, 1809 オオノガイ科**

282. *Mya truncata* Linnaeus, 1758 エゾオオノガイ  
Habe, 1955
283. *Mya (Arenomya) arenaria oonogai* Makiyama, 1935 オオノガイ  
木下, 1935; 鈴木, 1963; Nakao, 1978; 高丸, 1983; 高丸, 1985; 五嶋, 1996; 鈴木, 2005;  
山崎・柏尾, 2011
284. *Mya (Arenomya) japonica* Jay, 1857 キタノオオノガイ  
Habe, 1955; 横平・伊藤, 1967; 園田ら, 2009; 園田ら, 2010
285. *Cryptomya busoensis* Yokoyama, 1922 ヒメマスオ  
Habe, 1955; 鈴木, 1963

**Family CORBULIDAE GRAY, 1824 クチベニガイ科**

286. *Anisocorbula venusta* (Gould, 1861) クチベニデ  
鈴木, 1963
287. *Potamocorbula amurensis* (Schrenck, 1867) スマコダキガイ  
Habe, 1955



**Family HIATELLIDAE GRAY, 1824 キヌマトイガイ科**

288. *Hiatella orientalis* (Yokoyama, 1920) キヌマトイガイ  
Habe, 1955; 横平・伊藤, 1967; 鈴木, 2005; 山崎・柏尾, 2011
289. *Panomya ampla* Dall, 1898 アクビチシマガイ  
Habe, 1955
290. *Panomya arctica* (Lamarck, 1819) チシマガイ  
鈴木, 1963; 土田, 1998
291. *Panopea japonica* A. Adams, 1850 ナミガイ  
木下, 1935; Habe, 1955; 鈴木, 1963; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 高丸, 1983; 高丸, 1985;  
土田, 1998; 鈴木, 2005

**Family PHOLIDIDAE LAMARCK, 1809 ニオガイ科**

292. *Barnea (Anchomasa) manilensis* (Philippi, 1847) ニオガイ  
Habe, 1955
293. *Zirfaea subconstricta* (Yokoyama, 1924) ニオガイモドキ  
Habe, 1955; 鈴木, 1963
294. *Penitella kamakurensis* (Yokoyama, 1924) カモメガイ  
園田ら, 2010
295. *Penitella gabbii* (Tryon, 1863) オニカモメガイ  
山崎・柏尾, 2011  
= *Penitella chishimana* Habe, 1955 チシマカモメガイ  
Habe, 1955; 鈴木, 1963; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967
296. *Nettastomella japonica* (Yokoyama, 1920) ヨコヤマスズガイ  
Habe, 1955

**Family TEREDINIDAE RAFINESQUE, 1815 フナクイムシ科**

297. *Lyrodes pedicellatus* (Quatrefagus, 1845) ヤツフナクイムシ  
Habe, 1955
298. *Bankia (Bankia) setacea* (Tryon, 1863) キタオオフナクイムシ  
Habe, 1955

**Order PHOLADOMYOIDA NEWELL, 1965 ウミタケモドキ目**

**Family LYONSIIDAE FISCHER, 1887 サザナミガイ科**

299. *Lyonsia ventricosa* Gould, 1861 サザナミガイ  
Habe, 1955; 横平・伊藤, 1967; 土田, 1998
300. *Agriodesma naviculoides* Dall, 1909 フトオビクイ  
Habe, 1955; 鈴木, 1963; 横平, 1967; 横平・伊藤, 1967; 園田ら, 2010; 山崎・柏尾, 2011

**Family PANDORIDAE RAFINESQUE, 1797 ネリガイ科**

301. *Heteroclidus pulchellus* (Yokoyama, 1926) オシドリネリガイ  
土田, 1998; 鈴木, 2005

**Family MYOCHAMIDAE BRONN, 1862 ミツカドカタビラガイ科**

302. *Myadora japonica* Habe, 1950 ヒロカタビラガイ  
石山, 1974

Family LATERNULIDAE HEDLEY, 1918 オキナガイ科

303. *Laternula (Exolaternula) marilina* (Reeve, 1863) ソトオリガイ  
木下, 1935

Family THRACIIDAE STOLICZKA, 1870 スエモノガイ科

304. *Thracia kakumana* Yokoyama, 1927 スエモノガイ  
Habe, 1955; 横平・伊藤, 1967  
305. *Thracia itoi* Habe, 1961 フクレスエモノガイ  
鈴木, 1963

Family CUSPIDARIIDAE DALL, 1886 シャクシガイ科

306. *Cardiomya gouldiana* (Hinds, 1843) ヒメシャクシ  
石山, 1974  
307. *Cardiomya behringensis* Leach, 1883 テングシャクシ  
石川, 1969

### 3. 北海道東部から新種として記載された貝類

これまでに、北海道東部から、合計 93 種の海産貝類が新種として記録された。ここでは、1993 年までの間に記録された種類を肥後・後藤 (1993) の目録を元に記述する。厚岸湾及びその沖合から記載された 21 種類については、太字で示す。

1. *Punctrella (Punctrella) curva* Golikov & Gulbin, 1977  
模式産地: 千島
2. *Lepeta lima* Dall, 1918 スゲガサ  
模式産地: 北海道根室
3. ***Margarites helicinus pilsbryi* (Kuroda & Habe, 1952) エゾシタダミ**  
模式産地: 厚岸湾
4. *Minolia minima* Golikov, 1976  
模式産地: 千島
5. *Eotricolis tristis* (Pilsbry, 1903) コムラサキバイ  
模式産地: 北見利尻
6. *Valvata (Valvata) hokkaidoensis* Miyadi, 1935 ミズシタダミ  
模式産地: 北海道 (塘路湖)
7. ***Stenotis uchidai* Habe, 1953 ウチダヘソカドタマキビ**  
模式産地: 北海道厚岸湾
8. *Falsicingula kurilensis* (Pilsbry, 1905) ナタネツボ  
模式産地: 千島国後島
9. *Neohaustator fortilirata* (Sowerby, 1914) エゾキリガイダマシ  
模式産地: 北海道根室
10. ***Lamellaria (Lamellaria) uchidai* Habe, 1958 ウチダベッコウタマガイ**  
模式産地: 北海道厚岸湾 (浅海)
11. *Bulbus flagilis elongates* Habe & Ito, 1965 ナガクリガイ  
模式産地: 北海道根室
12. *Euspira pila* (Pilsbry, 1911) タマツメタ

- 模式産地: 北海道釧路, 厚岸
13. *Cryptonatica hirasei* (Pilsbry, 1905) ヒラセタマガイ  
模式産地: 北海道釧路, 厚岸
  14. *Furukawaia habei* Golikov & Gulbin, 1977  
模式産地: 千島沖
  15. *Laiochochlis sasamorii* Kuroda, 1943 ウミキセル  
模式産地: 千島エトロフ島
  16. *Trophonopsis scitula emphaticus* Habe & Ito, 1960 ナミジワツノオリイレ  
模式産地: 千島, エトロフ島沙那
  17. *Trophonopsis densilamellatus* Golikov & Gulbin, 1977 ヌノメツノオリイレ  
模式産地: 千島
  18. *Trophonopsis tegularis* Golikov & Gulbin, 1977 サメハダツノオリイレ  
模式産地: 千島列島色丹島 (90 m, 岩礁)
  19. *Boreotrophon paucicostata* Habe & Ito, 1956 テントウキツノオリイレ  
模式産地: 千島, エトロフ島沙那
  20. *Astyris kobai* Golikov & Kussakin, 1962 コバマツムシ  
模式産地: 千島
  21. *Pyrolofusus dexius japonicus* Habe, Ito & Tanji, 1980 ミギマキタテゴト  
模式産地: 北海道釧路沖
  22. *Mohnia sordid* Dall, 1907  
模式産地: 根室沖 (300 fms.)
  23. *Colus (Colus) esychus shikotanicus* (Golikov & Gulbin, 1977)  
模式産地: 千島, シコタン島沖
  24. *Colus (Colus) schantarica kurilensis* (Golikov & Gulbin, 1977)  
模式産地: 千島列島
  25. *Plicifusus hastarius* Tiba, 1980 ヤリノホシワバイ  
模式産地: 釧路沖 (約 80~100 m)
  26. *Plicifusus scissuratus* Dall, 1918 オオエゾシワバイ  
模式産地: 北海道根室
  27. *Plicifusus bambusus* Tiba, 1980  
模式産地: 北海道紋別沖
  28. *Plicifusus maehirai* Tiba, 1980  
模式産地: 北海道釧路沖
  29. *Ancistrolepis kawamurai* Habe & Ito, 1972 カワムラワダチバイ  
模式産地: 網走沖大和堆 (約 500 m)
  30. *Neancistrolepis glabra* Habe & Ito, 1973 スハダヤゲンバイ  
模式産地: 網走沖 (網走大和堆, 約 500 m)
  31. *Neptunea (Neptunea) laticostata* Golikov, 1962 カブラエゾボラ  
模式産地: 千島列島
  32. *Buccinum inclytum* Pilsbry, 1904 ヒモマキバイ  
模式産地: 千島エトロフ島
  33. *Buccinum rarusum* Tiba, 1984 マレエゾバイ  
模式産地: 北海道釧路沖 (50 m)
  34. *Buccinum rausicum* Shikama, 1952 ラウスバイ  
模式産地: 北海道羅臼沖 (140 fms.)
  35. *Buccinum chishimanum* Pilsbry, 1904 チシマバイ  
模式産地: 千島エトロフ島
  36. *Buccinum chishimanum nux* Habe & Ito, 1965 ウリザネバイ  
模式産地: 千島列島
  37. *Buccinum plectrium* Stimpson, 1865 オオウネエゾバイ  
模式産地: 千島

38. *Buccinum maehirai* Tiba, 1980 マエヒラエゾバイ  
 模式産地: 北海道釧路沖 (約 300~400 m)
39. *Buccinum longigiliare* Tiba, 1983 イトカケエゾバイ  
 模式産地: 北海道釧路沖
40. *Buccinum osagawai* Habe & Ito, 1968 オサガワバイ  
 模式産地: 北海道羅臼沖 (170 fms.)
41. *Buccinum epistomium* Dall, 1907 フジイロバイ  
 模式産地: 千島列島新知床島沖 (229 fms. アルバトロス St. 4804)
42. *Buccinum mizutanii* Habe & Ito, 1970 ミズタニバイ  
 模式産地: 北海道知床半島 (オホーツク海側, 約 500 m)
43. *Buccinum kinukatsugi* Habe & Ito, 1968 キヌカツギバイ  
 模式産地: 北海道羅臼沖 (140 fms.)
44. *Buccinum kushiroensis* Habe & Ito, 1976 クシロエゾバイ  
 模式産地: 北海道釧路沖 (300 m)
45. *Buccinum crenatum* Golikov & Gulbin, 1977  
 模式産地: 千島
46. *Buccinum elegantum* Golikov & Gulbin, 1977  
 模式産地: 千島
47. *Buccinum tenuisulcatum* Golikov & Gulbin, 1977  
 模式産地: 千島
48. *Buccinum tunnicatum* Golikov & Gulbin, 1977  
 模式産地: 千島
49. *Reticubuccinum shiretokoensis* (Habe & Ito, 1976) シレットコバイ  
 模式産地: 北海道知床半島沖 (500 m)
50. *Volutharpa ainos* Kuroda & Kinoshita, 1956 クマモスソガイ  
 模式産地: 北海道根室 (目梨郡), 羅臼沖 (120~130 fms.)
51. *Rhodopetoma akkeshiensis* Habe, 1958 アッケシシヤジク  
 模式産地: 北海道厚岸湾
52. *Obesotoma uchidai* Habe, 1958 ウチダフタマンジ  
 模式産地: 北海道厚岸湾
53. *Oenopota okudai* Habe, 1958 オクダフタマンジ  
 模式産地: 北海道厚岸湾
54. *Oenopota hanazakiensis* Habe, 1958 ハナザキフタマンジ  
 模式産地: 北海道花咲港
55. *Menestho akkeshiensis* Habe, 1958 アッケシヒサゴクチキレ  
 模式産地: 北海道厚岸湾
56. *Cylichna grisea* Smith, 1875  
 模式産地: 北海道厚岸沖 (48 fms.)
57. *Cylichna pertenuis* Smith, 1875  
 模式産地: 北海道厚岸沖
58. *Ercolania akkeshiensis* Baba, 1940  
 模式産地: 北海道, 厚岸 (大黒島)
59. *Acanthodoris uchidai* Baba, 1940 ウチダウミウシ  
 模式産地: 北海道厚岸湾
60. *Dirona albolineata* Mac Farland in Cockerell & Eliot, 1905  
 模式産地: 北海道厚岸
61. *Carychium sibiricum* Westerlund, 1897 エゾケシガイ  
 模式産地: 北海道春取
62. *Gyraulus infirmus* (Mori, 1938) ガドマルヒラマキガイ  
 模式産地: 千島
63. *Vertigo eogia eogia* Pilsbry, 1919 ナタネキバサナギガイ

- 模式産地: 北海道 (厚岸及び釧路)
64. *Vertigo kushiroensis* Pilsbry & Hirase, 1905 クシロキバサナギガイ  
模式産地: 北海道 (厚岸: 釧路)
65. *Punctum apertum* Pilsbry & Hirase, 1904 オオベソナタネ  
模式産地: 北海道根室
66. *Punctum boreale* Pilsbry & Hirase, 1904 エゾナタネ  
模式産地: 北海道 (釧路: 厚岸)
67. *Parakaliella affinis* (Pilsbry & Hirase, 1905) エゾキビ  
模式産地: 釧路春取 (湖畔) 及び厚岸 (北海道)
68. *Pristilima japonica* Pilsbry & Hirase, 1903 エゾエンザ  
模式産地: 北海道東部釧路市遠野 (Toya)
69. *Retinella radiatula radiata* (Pilsbry & Hirase, 1904) コハクモドキ  
模式産地: 北海道東部釧路 Toya (遠野)
70. *Striatura chishimana* (Pilsbry & Hirase, 1904) チシマコハクガイ  
模式産地: 千島国後
71. *Acilana paramushiraensis* (Savizty, 1972)  
模式産地: 千島 (パラムシール) (f.)
72. *Mantacutona kurilensis* (Scarlato & Ivanova, 1974) チシマフタバガイ  
模式産地: 千島
73. *Cyclocardia isaotakii* (Tiba, 1972) イサオマルフミガイ  
模式産地: 北海道根室近海 (100 m±)
74. *Tridonta (Toridonta) derjugini* Filatova, 1957  
模式産地: 南千島
75. *Arctoprattulum ezoense* (Takeda, 1953) エゾキンギョ  
模式産地: 北海道白糠郡白糠町茶路川 (f. 漸新世)
76. *Nuttallia ezonis* Kuroda & Habe, 1955 エゾイソシジミ  
模式産地: 北海道根室 (5 m, 砂泥)
77. *Pisidium (Pisidium) baicalense etorohuense* Mori, 1935 エトロフマメシジミ  
模式産地: 千島エトロフ島トロ沼
78. *Pisidium (Pisidium) kurodai* Mori, 1938 チヂミマメシジミ  
模式産地: 千島エトロフ島
79. *Pisidium (Pisidium) pondelisum* Stelfox, 1918 アツマメシジミ  
模式産地: 千島エトロフ島
80. *Pisidium (Pisidium) uenoi* Mori, 1938 ウエノマメシジミ  
模式産地: 千島エトロフ島
81. *Pisidium (Pisidium) humeriforme* Stelfox, 1918 ハリガタマメシジミ  
模式産地: 千島エトロフ島
82. *Pisidium (Pisidium) pulchellum* Jenyns, 1833 ウツクシマメシジミ  
模式産地: 千島エトロフ島
83. *Pisidium (Pisidium) pulchellum kunasiriense* Mori, 1938 クナジリマメシジミ  
模式産地: 国後島
84. *Pisidium (Pisidium) cinereum* Alder, 1838 ハイイロマメシジミ  
模式産地: 釧路阿寒湖
85. *Pisidium (Pisidium) japonicum* Pilsbry & Hirase, 1908 マメシジミ  
模式産地: 釧路厚岸
86. *Pisidium (Neopisidium) conventum akkesiense* Mori, 1938 アツケシマメシジミ  
模式産地: 北海道厚岸
87. *Pisidium (Cyclocalyx) subtruncatum altum* Mori, 1938 ハナタカマメシジミ  
模式産地: 北海道阿寒湖
88. *Sphaerium (Musculium) miyadai* Mori, 1933 エゾドブシジミ

- 模式産地: 千島エトロフ島
89. *Liocyma viridis* Dall, 1871  
模式産地: 千島
90. *Cyrtodaria kurriana* Dunker, 1862 キヌカツギマテ  
模式産地: 千島
91. *Penitella chishimana* (Habe, 1955) チシマカモメガイ  
模式産地: 千島幌筵島
92. *Fissidentalium (Fissidentalium) laterischismum* Shikama & Habe, 1963 オホーツクツノガイ  
模式産地: 北海道紋別沖 (約 150 m)
93. *Siphonodentalium okudai* Habe, 1953 キタノクチキレツノガイ  
模式産地: 北海道厚岸湾

## 引用文献

- 馬場菊太郎. 1957. 厚岸と浅虫 (II). 採集と飼育, 19(11): 323-326.
- 馬場菊太郎. 1968. オオバンハナガサウミウシ (新称) 北海道尻岸内沖に産す. 採集と飼育, 30(8): 257-258.
- Baba, K. 1987. Anatomical Review of *Coryphella* from Akkeshi Bay. *VENUS (Japanese Journal of Malacology)*, 46(3): 151-156.
- 五嶋聖治. 1996. 厚岸町厚岸湖. *WWF Japan Science Report*, 3: 86.
- Habe, T. 1955. Fauna of Akkeshi Bay XXI, Pelecypoda and Scaphopoda. *Publications from the Akkeshi Marine Biological Station*, 4: 1-31, pls. 1-7.
- Habe, T. 1958. Fauna of Akkeshi Bay XXV, Gastropoda. *Publications from the Akkeshi Marine Biological Station*, 8: 1-39, pls. 1-5.
- 波部忠重. 1965. 日本及び近接海域のマテガイ科. *VENUS (Japanese Journal of Malacology)*, 23(4): 188-197.
- 波部忠重・伊藤 潔. 1965. 北太平洋産貝類の新属新種. *VENUS (Japanese Journal of Malacology)*, 24(1): 16-45.
- 波部忠重・伊藤 潔. 1968. 北海道羅臼産のエゾバイ科の種類. *VENUS (Japanese Journal of Malacology)*, 27(1): 1-9.
- 波部忠重・伊藤 潔. 1970. 北海道産モロハバイ属の新種. *VENUS (Japanese Journal of Malacology)*, 29(4): 107-109.
- 波部忠重・伊藤 潔. 1971. オホツク海産ヒメナガバイの新亜種. *VENUS (Japanese Journal of Malacology)*, 31(3): 113-114.
- 波部忠重・伊藤 潔. 1980. モスソガイ属の種類. *VENUS (Japanese Journal of Malacology)*, 39(3): 1-6.
- 波部忠重・伊藤 潔・丹治豊明. 1980. ミギマキタテゴトナシボラに就いて. *VENUS (Japanese Journal of Malacology)*, 39(1): 7-13.
- 肥後俊一・後藤芳央. 1993. 日本及び周辺地域産軟体動物総目録. 5+3+22+693+13+148 pp. エル貝類出版局, 大阪.
- 石川政治. 1969. 淡青丸で採集した北海道厚岸沖の貝類について. *VENUS (Japanese Journal of Malacology)*, 28(1): 47-53.
- 石山尚珍. 1974. 襟裳岬沖と八戸沖の貝類とその生息環境について. 地質調査所月報, 25(7): 37-45.
- 伊藤勝千代・波部忠重. 1965. 日本海産のエゾバイ属の1新種. *VENUS (Japanese Journal of Malacology)*, 23(4): 182-184.
- 伊藤 潔. 1963. 北海道のオホーツク海沿岸に産する貝類. 生物教材の開拓, 3: 148-155.

- 伊藤 潔・波部忠重. 1980. オホツク海北部産新属新種ワクイバイ (新称). *VENUS (Japanese Journal of Malacology)*, 38(4): 219-222.
- 木下虎一郎. 1935. 北海道猿澗湖の貝類. *VENUS (Japanese Journal of Malacology)*, 5(1): 34-38.
- 黒田徳米. 1936. 日本北區産エゾバイ科の目録. *VENUS (Japanese Journal of Malacology)*, 6(3): 34-38.
- 黒田徳米・木下虎一郎. 1951. 北海道産貝類目録. 北海道区水産研究所研究報告, 2: 1-40.
- 水島敏博・富田恭司. 1984. 野付湾におけるアマモ葉上の貝類-II. 分布と出現個体数の季節変化. *VENUS (Japanese Journal of Malacology)*, 43(4): 339-346.
- Nakao, S. 1978. Distribution of Benthos in Relation to the Sulfide-content in the Bottom Sediments of Mixo-polyhaline Lake Notoro, Hokkaido. *Bulletin of the faculty of fisheries*, 29(2): 199-212.
- 中野智之・小澤智生. 2006. エゾノハナガサとシロガサガイの生息環境. ちりぼたん (日本貝類学会研究連絡誌), 37(3): 109-111.
- 延原尊美. 1999. 釧路沖より採集されたヒラセギンエビス. ちりぼたん (日本貝類学会研究連絡誌), 30(3): 65-67.
- 野別貴博・山崎友資. 2011. 色丹島で確認された貝類. 知床博物館研究報告, 32: 1-8.
- 大垣俊一. 1983. 北海道におけるタマキビガイ科の分布 -特に厚岸湾における分布の内湾外洋系列について-. *南紀生物*, 25(2): 173-180.
- Okutani, T. & Saito, H. 1987. An Occurrence of *Amicula gurjanovae* Yakovleva, 1952 (Polyplacophora: Mopaliidae) from Hokkaido with an Extended Description. *VENUS (Japanese Journal of Malacology)*, 46(3): 166-172.
- Saito, H. 1995. The Shallow-water Chiton Fauna of Eastern Hokkaido, Japan. *National Science Museum*, 27: 93-104.
- Shikama, T. 1957. On Some Gastropoda from Nemuro Strait, Eastern Hokkaido. *Science Reports of the Yokohama National University. Section II, Biological and Geological Sciences*, 6: 31-36.
- 園田 武・千葉 晋・五嶋聖治・山崎友資・富川 光・野別貴博. 2009. 無脊椎動物相. In: 平成 19 (2007) 年度知床半島沿岸における浅海域生物相調査業務報告書, pp. 31-46. 環境省 北海道地方環境事務所 釧路自然環境事務所.
- 園田 武・千葉 晋・五嶋聖治・山崎友資・布村 昇・駒井智幸・富川 光・伊藤 敦・野別貴博. 2009. 無脊椎動物相. In: 平成 20 (2008) 年度知床半島沿岸における浅海域生物相調査業務報告書, pp. 27-60. 環境省 北海道地方環境事務所 釧路自然環境事務所.
- 園田 武・千葉 晋・五嶋聖治・山崎友資・布村 昇・駒井智幸・富川 光・伊藤 敦・野別貴博. 2010. 無脊椎動物相. In: 平成 21 (2009) 年度知床世界自然遺産地域生態系モニタリング調査業務報告書, pp. 489-530. 環境省 北海道地方環境事務所 釧路自然環境事務所.



- 鈴木明彦. 2005. 北海道オホーツク海沿岸における打ち上げ貝類. 漂着物学会誌, 3: 7-11.
- 鈴木淳志. 2005. オホーツク海ウトロ沿岸での裸殻翼足類タルダカハダカカメガイ *Cliopsis krohnii* の採集記録. ちりぼたん (日本貝類学会研究連絡誌), 35(4): 130-131.
- 鈴木淳志・宮野裕希・馬渡恵子. 2005. オホーツク海網走周辺海域で採集される裸殻翼足類ハダカカメガイ (*Clione limacine* Phipps) の生物学的特徴. ちりぼたん (日本貝類学会研究連絡誌), 36(1): 12-17.
- 高丸禮好. 1983. 浜中湾および琵琶瀬湾におけるホッキガイ漁場の大型底生動物群集. 北水試月報, 40: 157-166.
- 高丸禮好. 1985. ホッキガイと砂浜の貝類達. 北水試だより, 53: 13-15.
- 富田恭司・水島敏博. 1984. 野付湾におけるアマモ葉上の貝類-I. 出現種と主要3種の成長. *VENUS (Japanese Journal of Malacology)*, 43(4): 331-338.
- Toyohara, T, Nakaoka, M. & Tsuchida, E. 2001. Population Dynamics and Life History Traits of *Siphonacmea oblongata* (Yokoyama) on Seagrass Leaves in Otsuchi Bay, North-Eastern Japan (Siphonariidae, Pulmonata). *VENUS (Japanese Journal of Malacology)*, 60(1-2): 27-36.
- 土田英治. 1998. 根室湾から採集された上部浅海系の貝類の特性. 北海道区水産研究報告, 62: 83-105.
- 山崎友資・柏尾 翔. 2011. 第3章 厚岸臨海実験所付近の貝類. In: 山崎友資 (編), 北方圏フィールド科学センター厚岸臨海実験所付近の貝類. pp. 33-59. 函館.
- 横平 弘. 1967. 根室沿岸の貝類. 生物教材, 7: 54-57.
- 横平 弘・伊藤 潔. 1967. 釧路沿岸の貝類. 生物教材, 7: 46-51.

## 第3章 厚岸臨海実験所付近の貝類

### 1. 調査場所

調査場所は厚岸臨海実験所の南側の潮間帯及び、大黒島の東側潮間帯で行った。厚岸臨海実験所の南側の潮間帯は、大きさ約5から10cm程度の石で敷き詰められた海岸や、約50cm以上石から構成される転石帯、露出した岩盤、砂礫の海岸から構成される。湾内という地理的特徴から、比較的内湾的環境と言える。一方、大黒島における調査場所は、実験所付近と海岸の地形は似ているが、外海に面し、波当たりが強い。大黒島の南東部の海岸線は、断崖絶壁の岩場で、崩落が目立つ。

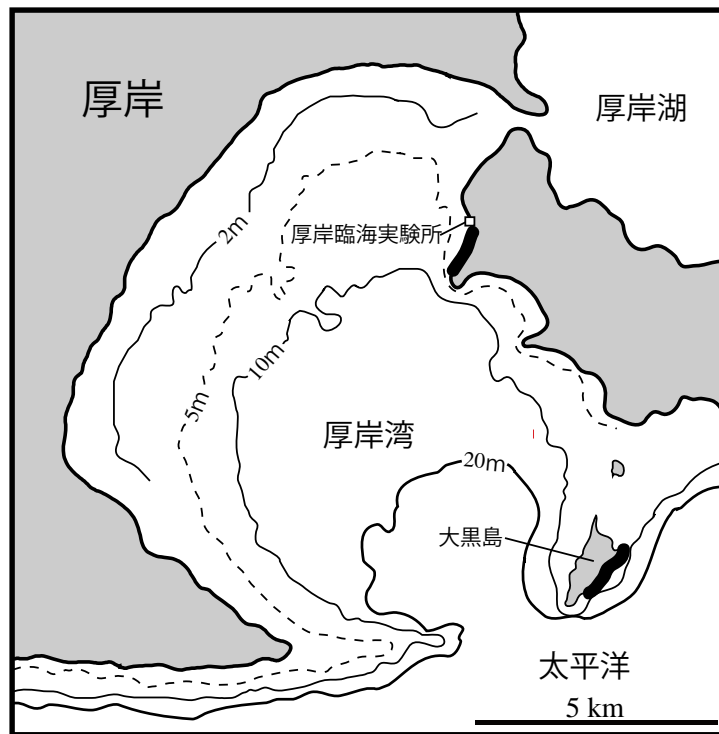


図 3-1 厚岸臨海実験所と、調査箇所 (黒い太線) を示す。

調査は2009年7月6日～10日、2010年12月4日～6日の合計8日間行った。調査の時間帯は大潮に合わせて行ったため、2009年度は日中、2010年度は夜間に行った。潮間帯での調査の他、厚岸湾の沖合水深130m付近までドレッチによる調査も行ったが、今回は潮間帯から採集された種類に限定した。

### 2. 厚岸臨海実験所付近に生息する貝類

多板綱・新ヒザラガイ目 POLYPLACOPHORA・Neoloricata



上段: オオヒゲヒザラガイ *Mopalia seta* Yakovleva, 1952

中段: エゾヤスリヒザラガイ *Lepidozona (Tripoplax) albrechtii* (Schrenck, 1861)

下段: キタノババガゼ *Placiphorella borealis* Berry, 1917

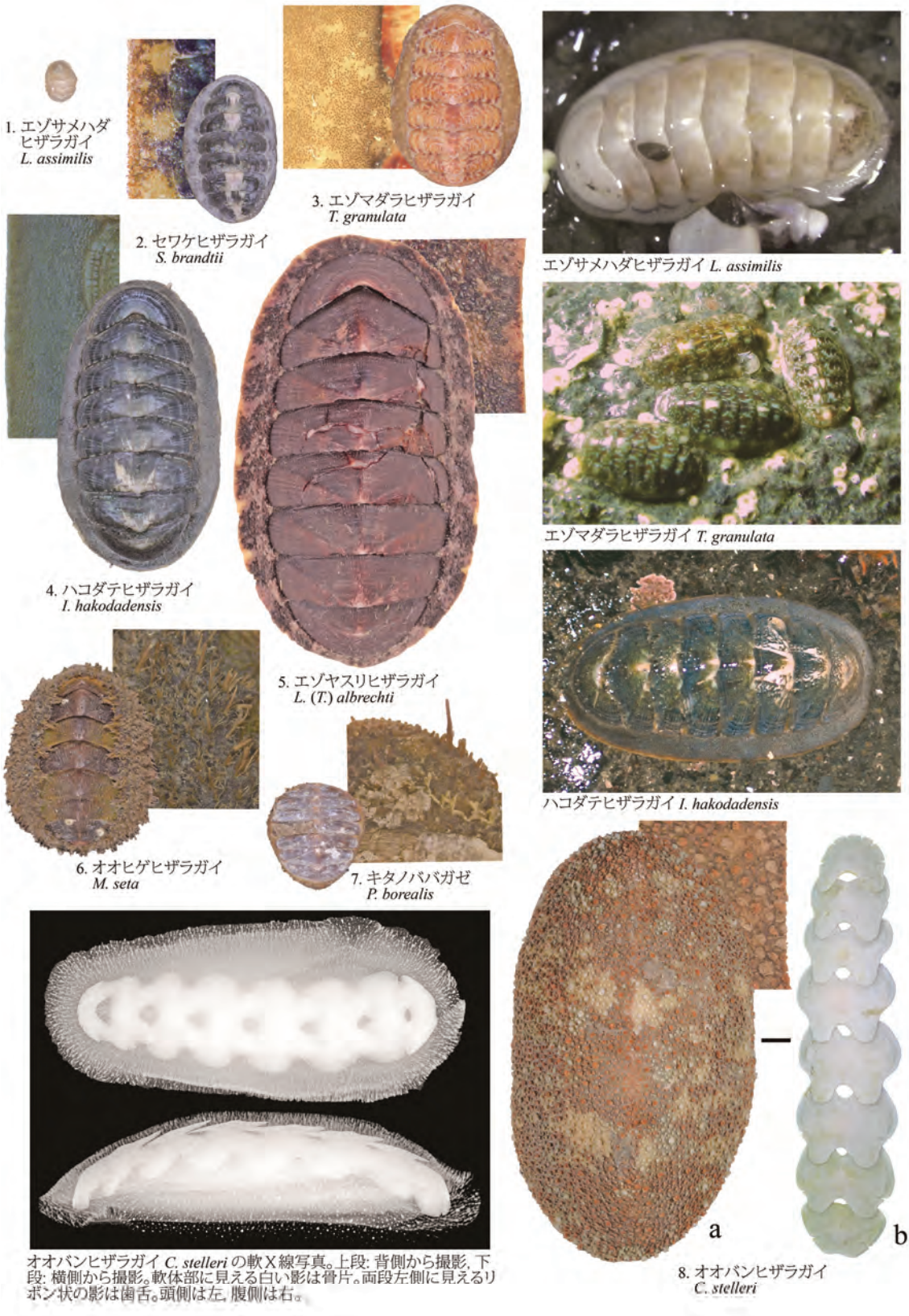
キタノババガゼは肉食性で、前半部を持ち上げて獲物を待ち伏せる (下段左)。



オオバンヒザラガイ *Cryptochiton stelleri* (Middendorff, 1846)

本種は、転石帯に多く生息しており、大潮化の後に海岸に多く打ち上げられる。大潮時には海水から露出し、基質から半分程度剥がれ、オレンジ色の足が露出するため目立つ。捕食者として鳥類が挙げられる。貝殻は軟体部に埋もれているため、外部から見ることはできない。

多板綱・新ヒザラガイ目 POLYPLACOPHORA・Neoloricata





上段: サラサシロガイ *Lottia* sp

中段: ベッコウシロガイ *Tectura emydia* (Dall, 1914)

下段: ユキノカサガイ *Niveotectura pallida* (Gould, 1859)

ユキノカサガイの外套膜と足の間隙に多毛類の一種であるカクレウロコムシが棲む (下段右)。

腹足綱・カサガイ目 / 古腹足目 PROSOBRANCHIA・Patellogastropoda / Vetigastropoda





上段: エゾシタダミ *Margarites (Margarites) helycinus pilsbryi* (Kuroda & Habe, 1952)

中段: クロタマキビ *Littorina (Neritrema) sitkana* Philippi, 1846

下段: コウダカチャイロタマキビ *Lacuna (Epheria) decorata* (A. Adams, 1861)

エゾシタダミの殻色は変異に富む。岩礁の窪みに集中して分布している場合が多い。



腹足綱・盤足目 PROSOBRANCHIA・Discopoda

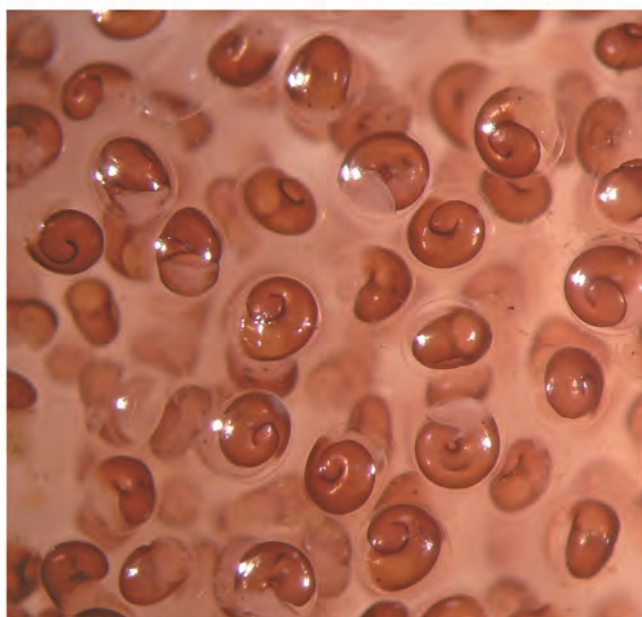
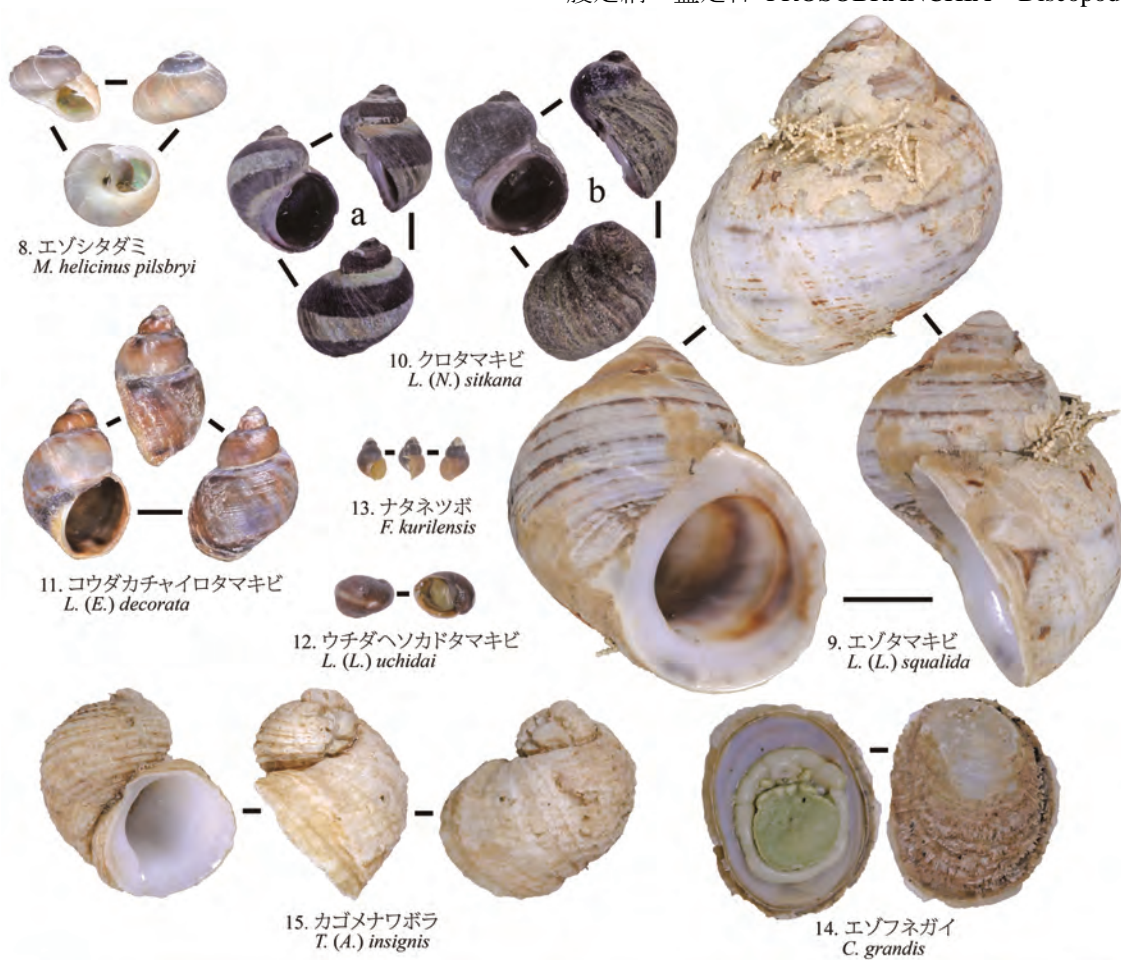


上段: エゾタマキビ *Littorina (Littorina) squalida* Broderip & Sowerby, 1829

中段: エゾフネガイ *Crepidula grandis* Middendorff, 1849

下段: カゴメナワボラ *Trichotropis (Ariadnaria) insignis* Middendorff, 1849

潮間帯に生息するエゾフネガイの殻の膨らみは弱い。ホタテガイに付着している個体の膨らみは強い。

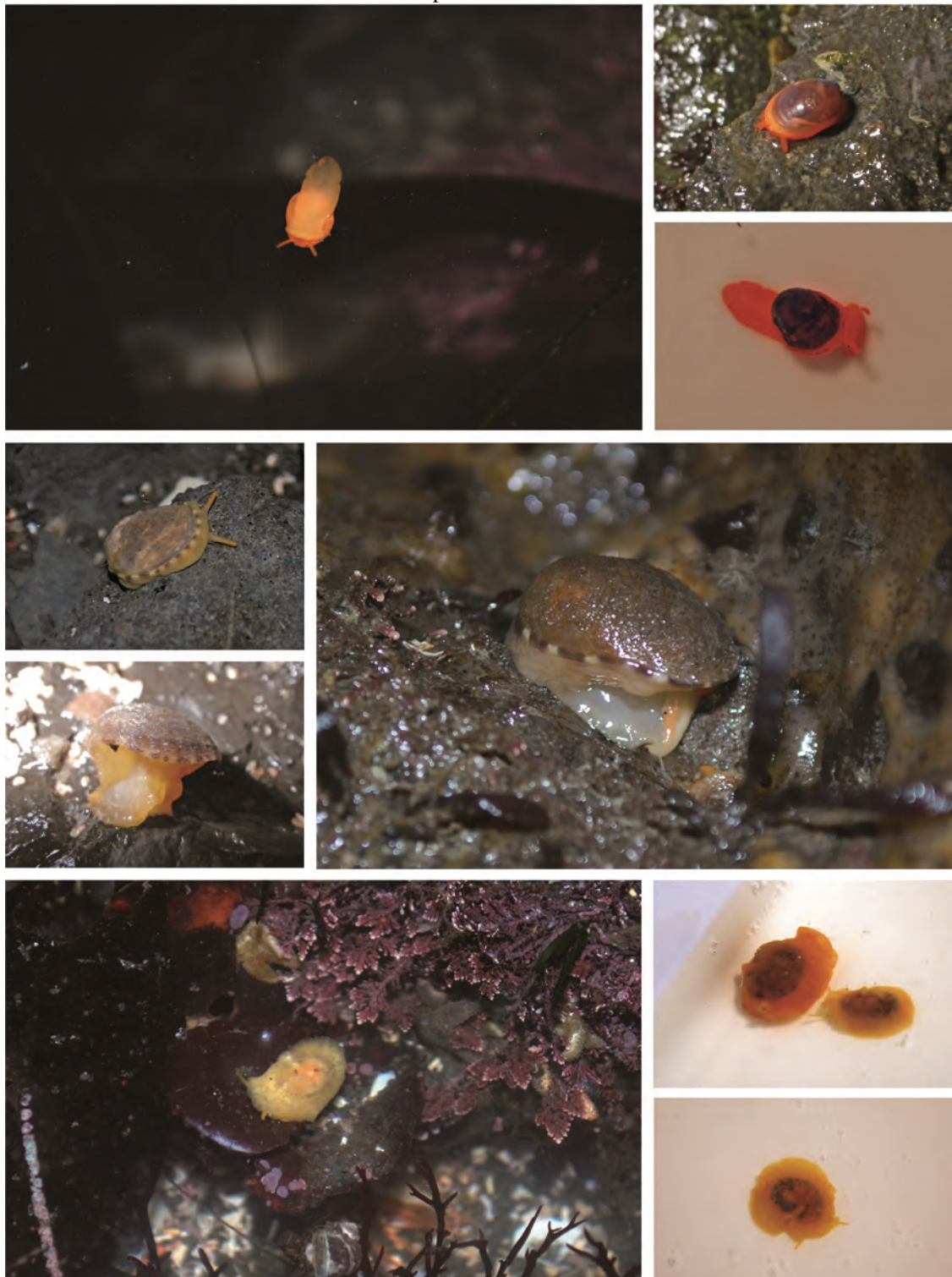


クロタマキビ *L. (N.) sitkana* の卵塊。本種の発生様式は直達型で、卵は転石の下側や、岩礁帯の窪みへ産み付ける。産卵は年に1度で、寿命は約2年。



ウチダヘソカドタマキビ *L. (L.) uchidai*。スガモの表面に多く生息している。発生様式は直達式。

腹足綱・盤足目 PROSOBRANCHIA・Discopoda

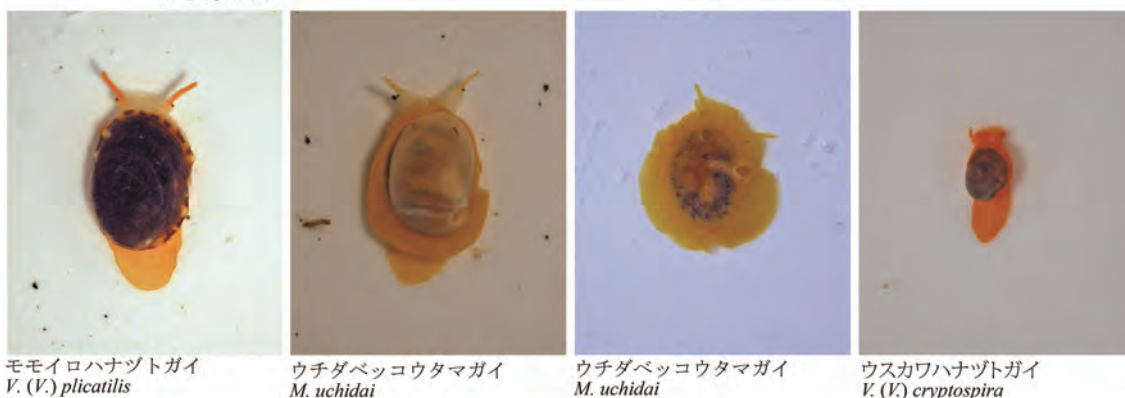
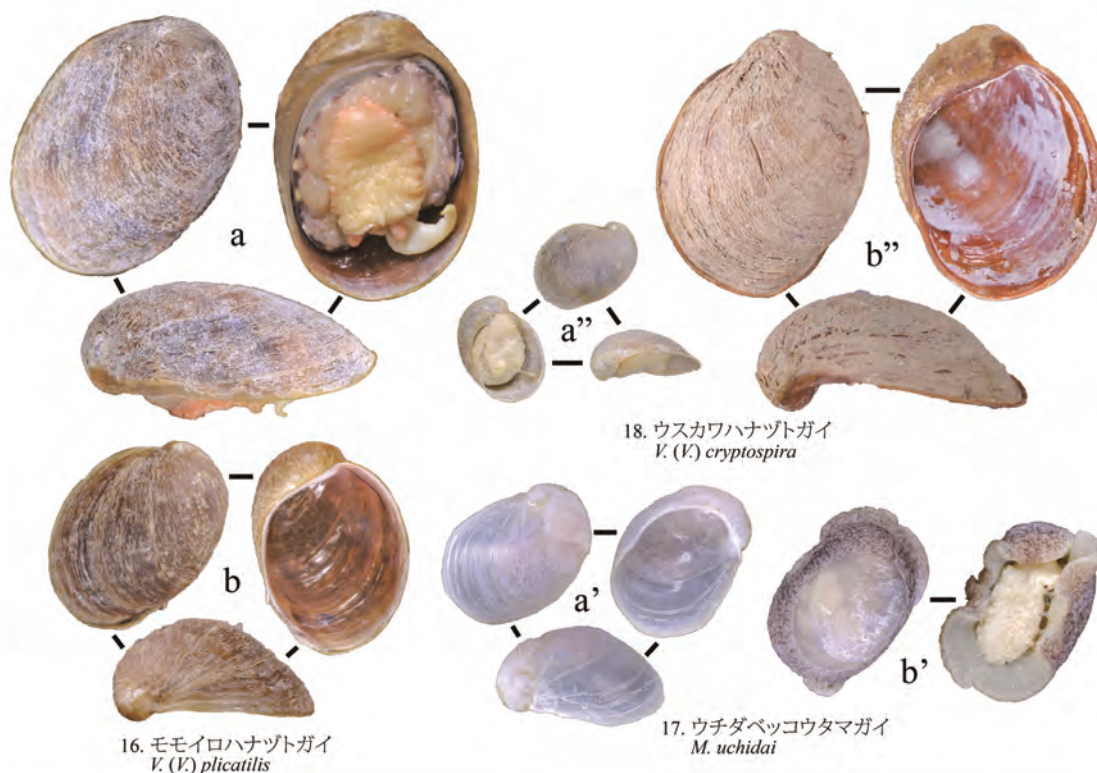


上段: ウスカワハナヅトガイ *Velutina (Velutella) cryptospira* Middendorff, 1849

中段: モモイロハナヅトガイ *Velutina (Velutella) plicatilis* (Müller, 1774)

下段: ウチダベッコウタマガイ *Marsenina uchidai* (Habe, 1958)

ハナヅトガイ類は、足を水面に広げて、水面を這うように移動する場合があります (写真上段左)。



ウチダベッコウタマガイ *M. uchidai*



ウスカワハナヅトガイ *V. (V.) cryptospira*

腹足綱・盤足目 PROSOBRANCHIA・Discopoda

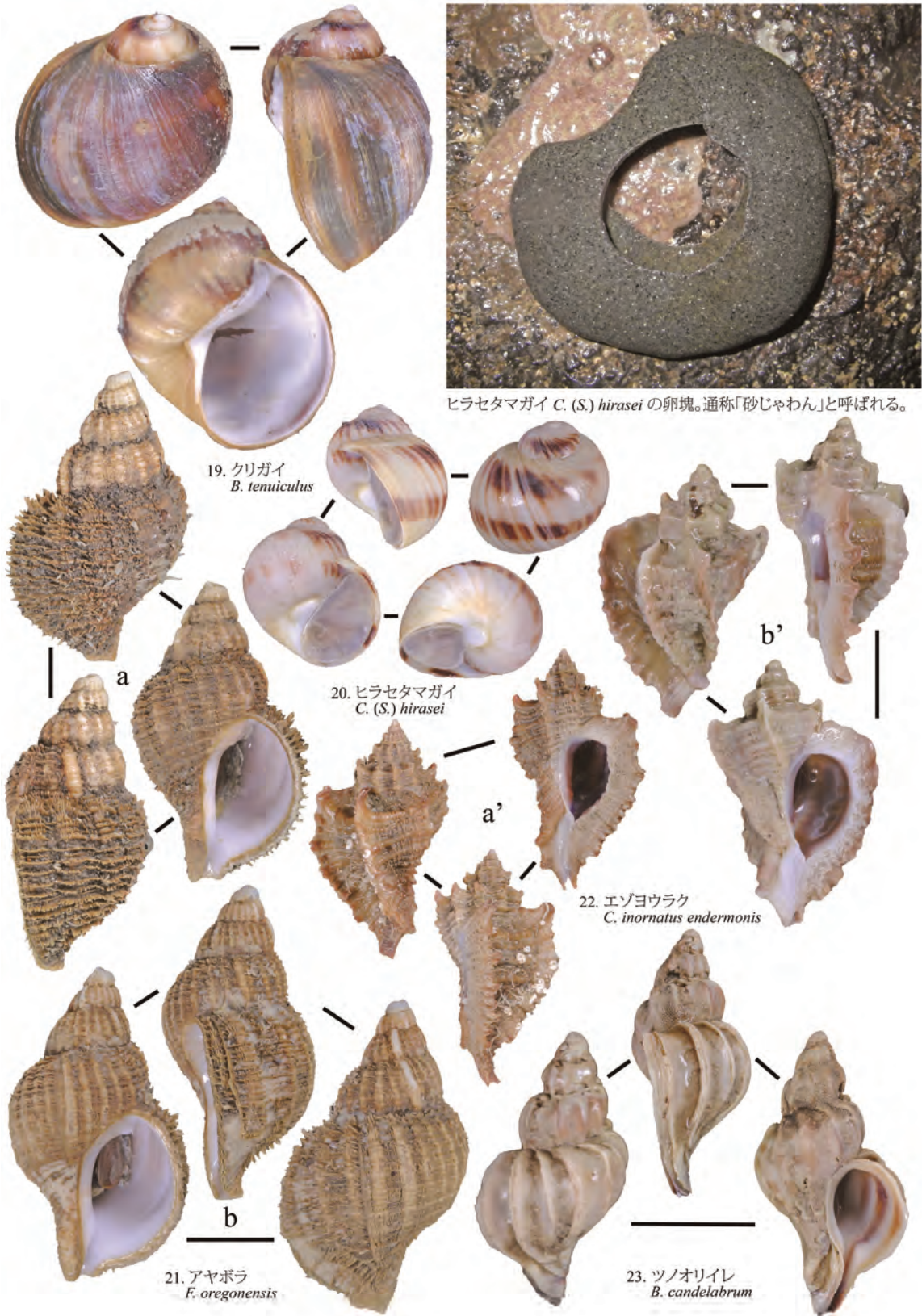


上段: ヒラセタマガイ *Cryptonatica (Sulconatica) hirasei* (Pilsbry, 1905)

中段: クリガイ *Bulbus tenuiculus* (Sowerby, 1915)

下段: アヤボラ *Fusitriton oregonensis* (Redfield, 1846)

ヒラセタマガイは、足を水面に広げて、水面を這うように移動する場合がある (写真上段右下)。



腹足綱・新腹足目 PROSOBRANCHIA・Neogastropoda



上段: エゾヨウラク *Cerastoma inornatus endermonis* (Smith, 1875)

中段: ツノオリイレ *Boreotrophon candelabrum* (Reeve, 1847)

下段: チヂミボラ *Nucella lima* (Gmelin, 1791)

この三種は肉食性貝類で、二枚貝などの他の貝に穴を開けて、軟体部を捕食する (写真下段右下)。





腹足綱・新腹足目 PROSOBRANCHIA・Neogastropoda

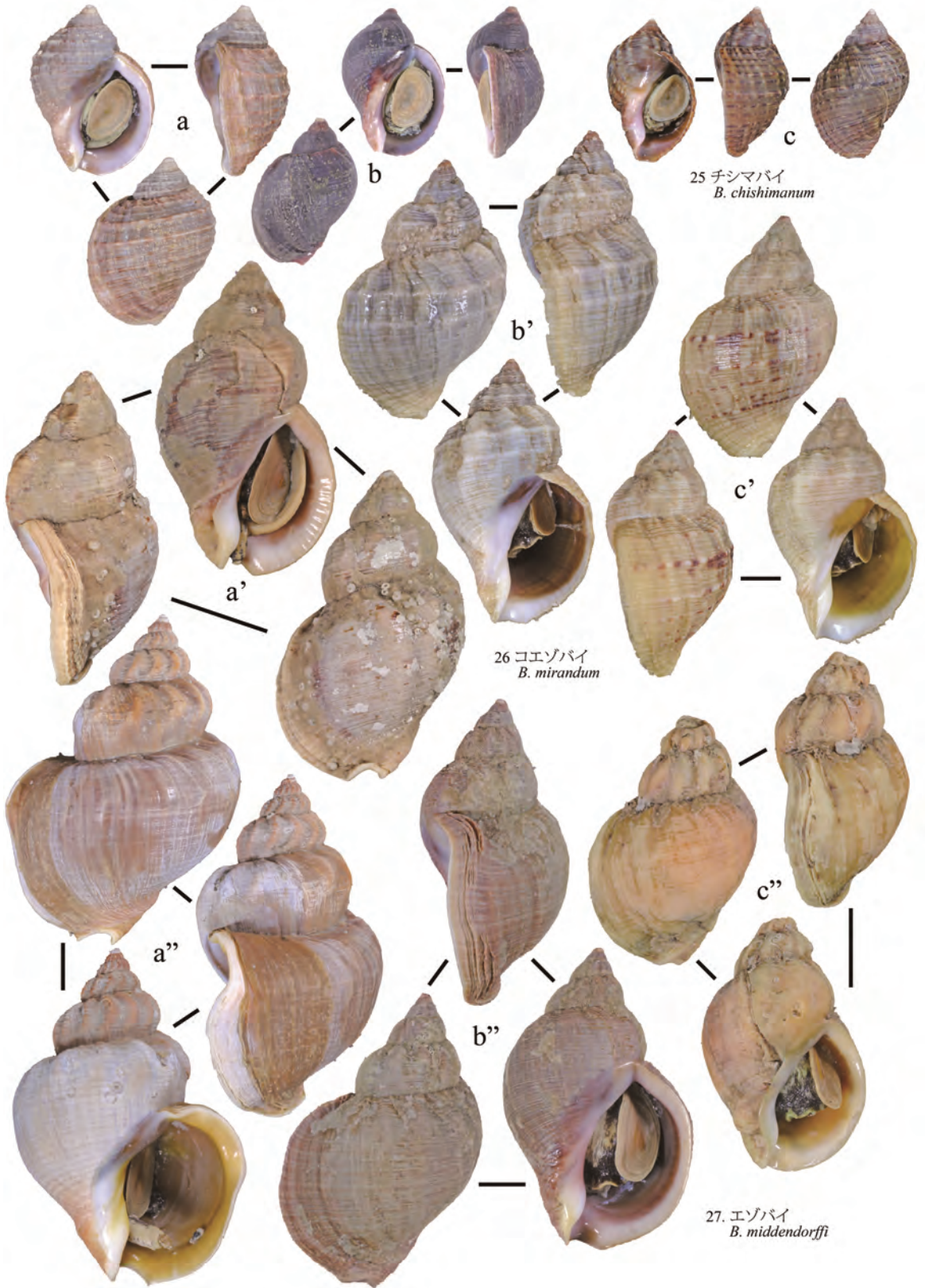


上段: エゾバイ *Buccinum middendorffi* Verkrutzen, 1882

中段: コエゾバイ *Buccinum mirandum* Smith, 1875

下段: チシマバイ *Buccinum chishimanum* Pilsbry, 1904

エゾバイとコエゾバイは食用となり、市場に並ぶ場合がある。これらの可食部は大きくて旨い。



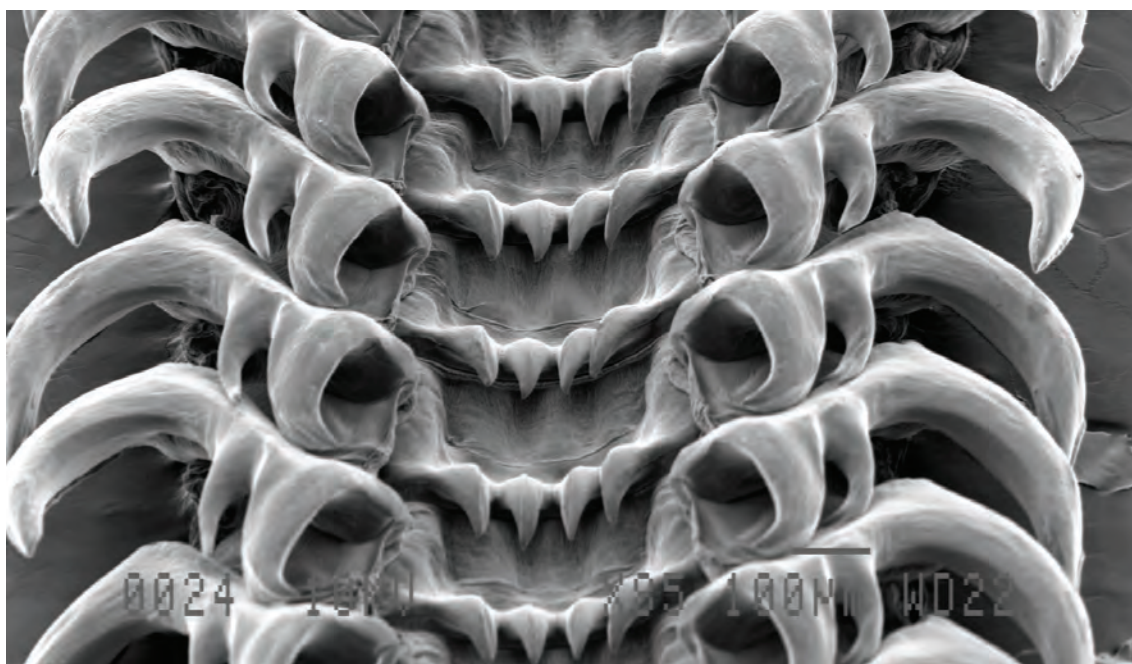
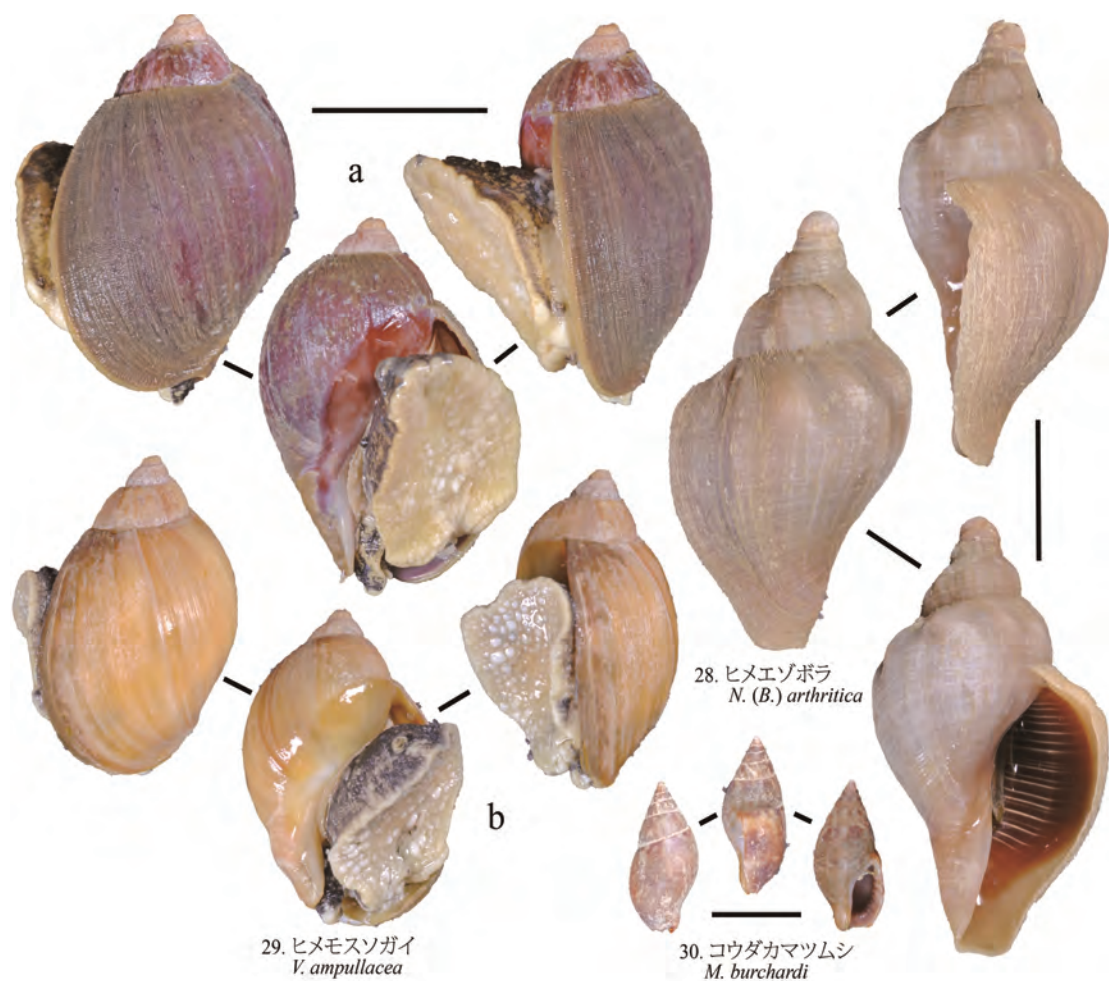
腹足綱・新腹足目 PROSOBRANCHIA・Neogastropoda



上段: ヒメモスソガイ *Volutharpa ampullacea* (Middendorff, 1848)

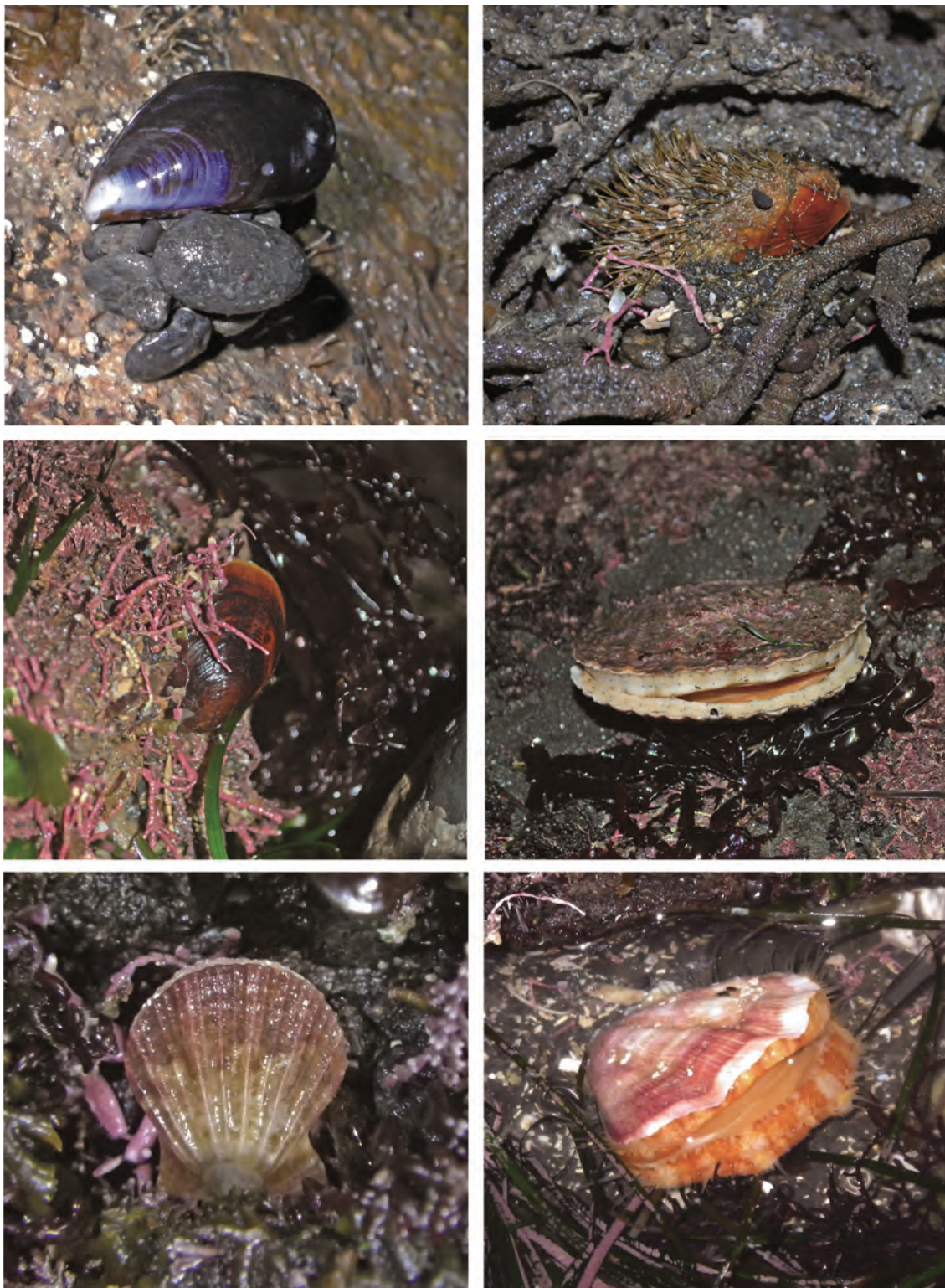
下段: コウダカマツムシ *Mitrella burchardi* (Dunker, 1877)

ヒメモスソガイの蓋は足の先端に付いており、大きさは小さい。軟体部全体は貝殻に納まらず、常に貝殻の外へ露出している。近縁種のモスソガイは食用として市場へ出荷される。

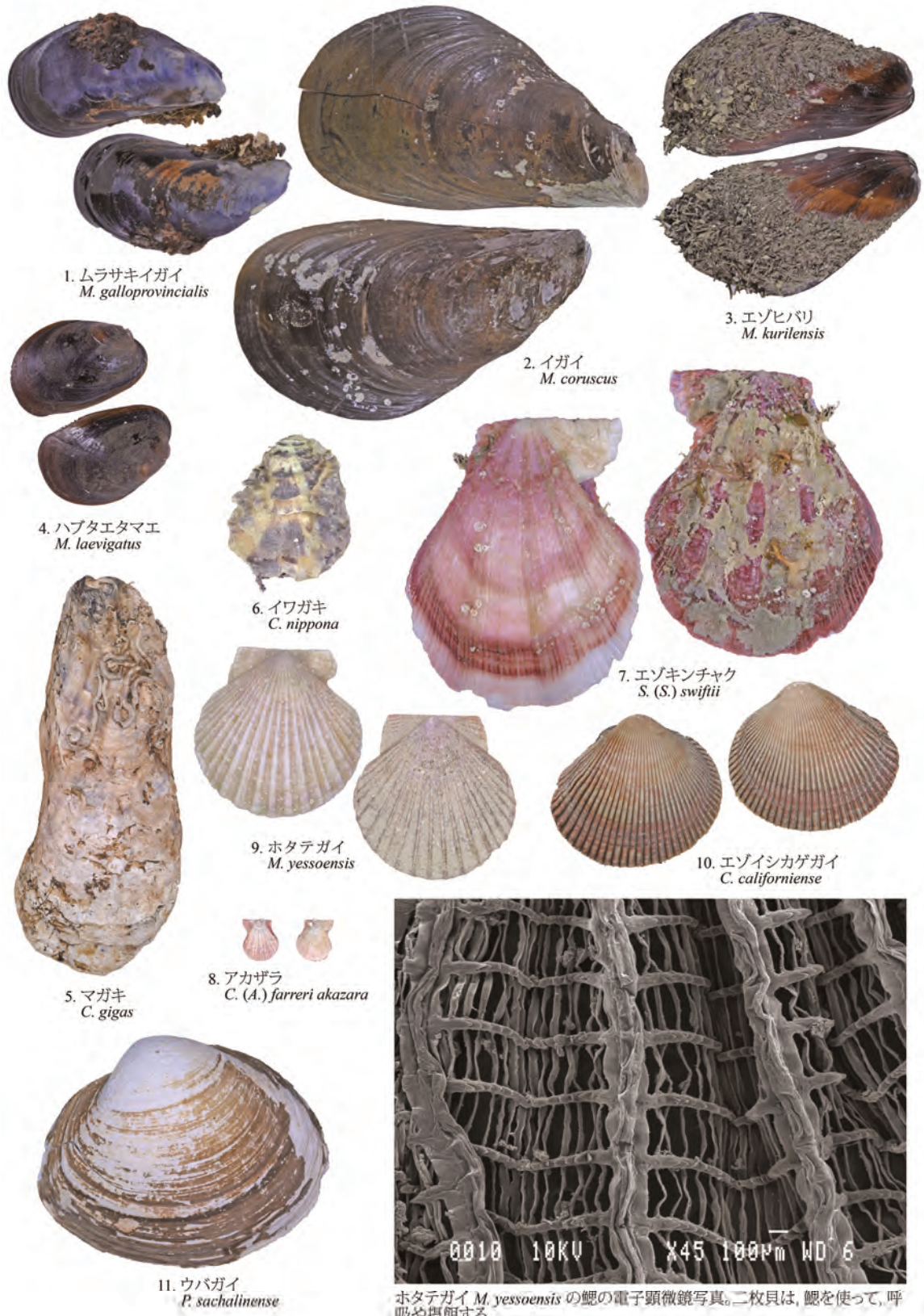


ヒメエゾボラ *N. (B.) arthritica* の歯舌の電子顕微鏡の写真。巻貝は歯舌というキチン質のリボン状の器官を使って、餌を食べる。歯舌は使い捨てで、摩耗した歯舌は捨てられ、新しい歯舌が後ろから押し出される。

二枚貝綱・イガイ目 / カキ目 BIVALVIA・Mytiloida / Ostreoida



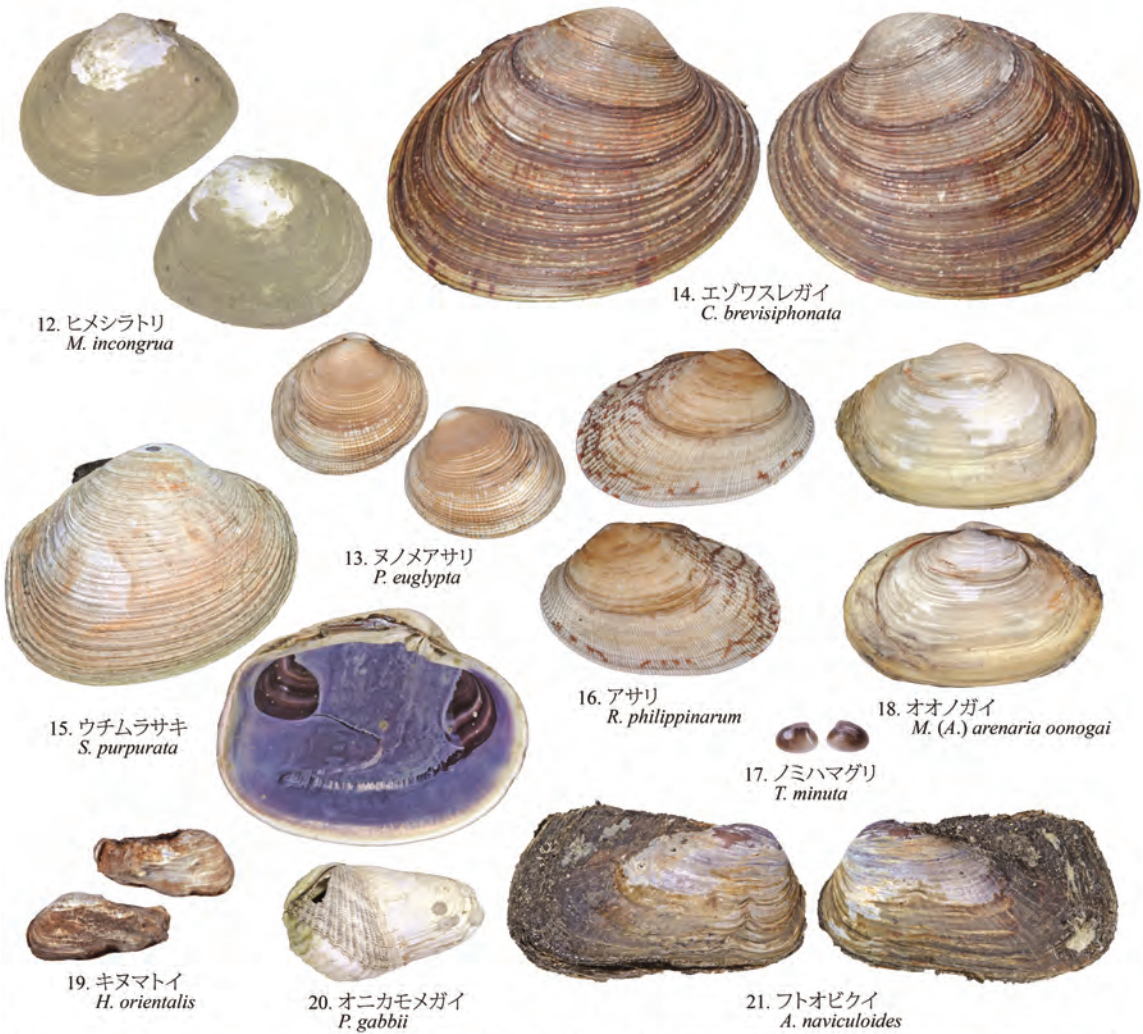
上段左: ムラサキイガイ *Mytilus galloprovincialis* Lamarck, 1819, 右: エゾヒバリガイ *Modiolus kurilensis* Bernard, 1983, 中段左: ハブタエタマエ *Musculus laevigatus* (Gray, 1824), 右: ホタテガイ *Mizuhopecten yessoensis* (Jay, 1857), 下段左: アカザラ *Chlamys* (*Azumapecten*) *farreri akazara* (Kuroda, 1932), 右: エゾキンチャク *Swiftopecten* (*Swiftopecten*) *swiftii* (Bernardi, 1858)



二枚貝綱・マルスダレガイ目 / ウミタケガイモドキ目 BIVALVIA・Veneroida / Pholadomyoida



上段左: ノミハマグリ *Turtonia minuta* (Fabricius, 1780), 右: エゾイシカゲガイ *Clinocardium californiense* (Deshayes, 1839), 中段左: スノメアサリ *Protothaca euglypta* (Sowerby III, 1914), 右: エゾワスレガイ *Callista brevisiphonata* (Carpenter, 1864), 下段左: キヌマトイ *Hiatella orientalis* (Yokoyama, 1920), 左: フトオビクイ *Agridoesma navicula* (Adams & Reeve, 1850)



ウバガイ *P. sachalinense*



ヌノメアサリ *P. (N.) euglypta*



ハブタエタマエ *M. laevigatus*



多板綱 POLYPLACOPHORA

新ヒザラガイ目 Neoloricata

サメハダヒザラガイ科 Leptochitonidae

1. エゾサメハダヒザラガイ  
*Leptochiton assimilis* Thiele, 1909  
肉帯はコンペイ糖様の顆粒状となり、幅は狭い。殻板はもろく、壊れやすい。岩礁帯の窪みに生息している。殻色の変異は他種と比べて少なく、白ないし肌色に近い色になる場合が多い。

ウスヒザラガイ科 Ischnochitonidae

2. セワケヒザラガイ  
*Schizoplax brandtii* (Middendorff, 1847)  
殻板の中央に亀裂が現れることから、他のヒザラガイと容易に区別できる。貝殻の色彩、パターンは変異に富む。転石帯の転石下で多く見られる。
3. エゾマダラヒザラガイ  
*Tonicella granulata* Yakovleva, 1952  
生時と標本時では、殻色が著しく異なる。生時の貝殻と肉帯は暗い色であるが、エタノールやホルマリンなどの液浸標本の場合は、鮮やかなオレンジ色となる。元記載における模式標本のスケッチは、鮮やかなオレンジ色。
4. ハコダテヒザラガイ  
*Ischnochiton hakodadensis* Pilsbry, 1893  
殻色は変異に富む。肉帯の鱗片はオレンジ粒様の形となる。転石の下に付着している場合が多い。
5. エゾヤスリヒザラガイ  
*Lepidozona (Trioplox) albrechti* (Schrenck, 1863)  
殻色の変異は少なく、ほとんどは赤色で黒褐色の斑点が現れる。転石の下に付着している場合が多く、比較的大型になる。

ヒゲヒザラガイ科 Mopaliidae

6. オオヒゲヒザラガイ  
*Mopalia seta* Yakovleva, 1952  
肉帯は枝分かかれする丈夫な茶褐色の毛で覆われる。潮間帯での生息数は少ない。
7. キタノババガゼ  
*Placiphorella borealis* Berry, 1917  
肉帯はパイプ状の毛で覆われる。他のババガゼ類と同様に肉食性。

ケハダヒザラガイ科 Acanthochitonidae

8. オオバンヒザラガイ  
*Cryptochiton stelleri* (Middendorff, 1847)  
ヒザラガイ類では世界最大サイズの40 cm程度まで成長する。殻板は軟体部に覆われて、外部から見ることは出来ない。肉帯は白と赤の斑点様の色彩パターンで、花びら状に広がる微細な棘で覆われる。食用。

腹足綱 Gastropoda

カサガイ目 Patellogastropoda

ユキノカサガイ科 Lottiidae

1. シロガイ  
*Lottia cassis* (Eschscholtz, 1833)  
次種のサラサシロガイと混同される場合があるが、本種は、貝殻内面の周縁部は淡い褐色斑に縁取られ、その内側は純白となる。
2. サラサシロガイ  
*Lottia* sp.  
貝殻内面の周縁部の褐色帯と白斑は明瞭、その内側は純白となる。本種の学名は確定していない。
3. コモレビコガモガイ  
*Lottia tenuisculpta* Sasaki & Okutani, 1994  
殻頂から縁辺部にかけて放射状の細い肋が現れる。殻色の模様のパターンの変異は多いが、黒褐色の殻色に白い放射彩が現れる場合が多い。
4. ベッコウシロガイ  
*Tectura emydia* (Dall, 1914)  
殻色パターンは白褐色に黒色の斑点が現れる場合や、やや赤味を帯びた殻色に黒褐色の斑点が現れる場合が多い。
5. ユキノカサガイ  
*Niveotectura pallida* (Gould, 1859)  
殻高は変異に富み、高くなる場合から低くなる場合と様々であるが、厚岸の潮間帯では高くなるタイプが多い。主に、歯舌で石灰藻を削って食べることから、磯焼けの回復に貢献する可能性があると考えられている。
6. カモガイ  
*Lottia dorsuosa* (Gould, 1859)  
殻高は高く、岩礁帯の潮の流れが速い場所を好んで、集団で生活する。本種は暖流系の貝類の一種で、北海道の太平洋沿岸では、厚岸が分布の北限となる。今回の調査では1個体のみ確認された。

古腹足目 Vetigastropoda

スカシガイ科 Fissurellidae

7. コウダカスカシガイ  
*Punctrella nobilis* A. Adams, 1860  
貝殻はカサ型で、殻頂部に穴が開く。殻頂から周辺部へ向かって、強い等間隔の肋が現れる。

ニシキウズガイ科 Trochidae

8. エゾシタダミ  
*Margarites helicinus pilsbryi* (Kuroda & Habe, 1952)  
小型の巻貝の一種で、岩の窪みや海藻の表面に付着する。殻は光沢があり、白色の個体が占めるが、赤褐色を帯びる個体も見られる。

## 盤足目 Discopoda

### タマキビ科 Littorinidae

#### 9. エゾタマキビ

*Littorina (Littorina) squalida* Broderip & Sowerby, 1892  
タマキビ類では大型になるタイプで、稀にタマキビと混同されるが、エゾタマキビの 1 cm 程度の幼貝では、殻頂がタマキビと比べて高く、さらに尖ることで容易に区別できる。また、貝殻はタマキビと比べて厚い。成貝においても、貝色のパターンは、タマキビとも異なり、本種の殻色は全体的に明るいクリーム色で、黒色の細い線が現れる。

#### 10. クロタマキビ

*Littorina (Neritrema) sitkana* (Philippi, 1846)  
潮間帯上部で最も普通に見られる。発生様式は直達型で産卵は年 1 回で寿命は約 2 年。産卵は春で転石の下など波当たりが弱い場所で行われる。日本近海において、貝殻表面の彫刻パターンは 3 タイプが知られており、厚岸で見られるタイプは貝殻表面全体が滑らかになるタイプ。

#### 11. コウダカチャイロタマキビ

*Lacuna (Epheria) decorata* (A. Adams, 1861)  
貝殻は茶色で、薄く、体層は、よく膨らむ。海藻の葉上に生息している。

#### 12. ウチダヘソカドタマキビ

*Lacuna (Lacuna) uchidai* (Habe, 1953)  
殻口は大きく、大きな足でスガモの葉上に多く付着している。発生様式は直達型。

### ナタネツボ科 Falsicingulidae

#### 13. ナタネツボ

*Falsicingula kurilensis* (Pilsbry, 1905)  
殻はよく膨らみ、縫合は明らか。貝殻は薄く、茶褐色。殻口は円形。

### カリバガサガイ科 Calyptraeidae

#### 14. エゾフネガイ

*Crepidula grandis* Middendorff, 1849  
本来はホタテガイなどの二枚貝に付着して、二枚貝の排泄物を餌として利用しているが、転石の下で見られる場合が多い。潮間帯で見られる個体は、比較的扁平な場合がほとんど。潮間帯で深でホタテガイの表面に付着する個体は、よく膨らむ。サハリン南部の岩礁潮間帯では、チヂミボラの貝殻表面に付着している。

### カツラガイ科 Capulidae

#### 15. カゴメナワボラ

*Trichotropis (Ariadnaria) insignis* (Middendorff, 1849)  
殻は白褐色で、表面は凹凸で、壊れやすい。転石の下や上で、比較的普通に見られる。本種は、本来、水深 80 m 程度に分布すると知られていたが潮間帯から生息していることがわかった。ホンヤドカリなどのヤドカリ類の宿として利用されている場合が多い。

### ハナズトガイ科 Velutinidae

#### 16. モモイロハナズトガイ

*Velutinidae (Velutella) plicatilis* (Müller, 1774)  
貝殻表面には打撃跡があり、殻はやや柔らかく、比較的丈夫。外套膜には黄色と茶色の色素が交互に現れる。

#### 17. ウチダベッコウタマガイ

*Marsenina uchidai* (Habe, 1958)  
生時、貝殻表面は黄色い外套膜で覆われる。貝殻は薄く、白色。表面は滑らか。

#### 18. ウスカワハナズトガイ

*Velutina (Velutella) cryptospira* Middendorff, 1849  
貝殻表面は滑らかで、殻皮に覆われる。軟体部は鮮やかなオレンジ色。

### タマガイ科 Naticidae

#### 19. クリガイ

*Bulbus tenuiculus* (Sowerby, 1915)  
貝殻は茶褐色で、薄く、薄い茶色い殻皮をかぶり、壊れやすい。軟体部は白色で、表面には黒色の斑点が散りばめられ、伸びきった状態では、その長さは殻高の約 3 倍になる。普段は砂の中に潜って生活しているが、砂の表面を移動している時は、軟体部が目立つため見つけやすい。

#### 20. ヒラセタマガイ

*Cryptonatica hirasei* (Pilsbry, 1905)  
貝殻は白色で、断続的な茶褐色の帯状の線が 2 本現れる。軟体部は白色で、黒い斑模様認められる。足を水面に広げて、移動する場合がある。

### フジツガイ科 Ranellidae

#### 21. アヤボラ

*Fusitriton oregonensis* (Redfield, 1848)  
潮間帯で見られる本種は、潮間帯で深で見られる個体と比べて、殻高は小さく、7 cm 程度。厚岸南側では少ないが、大黒島で多く見られる。貝殻表面は毛状の殻皮で覆われることから「毛つぶ」と市場で呼ばれている。腐肉食性。食用となる。

### 新腹足目 Neogastropoda

### アッキガイ科 Muricidae

#### 22. エゾヨウラク

*Ceratostoma inornatus endermonis* (Smith, 1875)  
カギヨウラクの北方型とも考えられるが、カギヨウラクの特徴を持つ個体と、エゾヨウラクの特徴を持つ個体が同所的に生息している。a' はエゾヨウラク型で、貝殻表面は微細な棘で覆われる。b' はカギヨウラク型で貝殻表面は滑らか。

23. ツノオリイレ

*Boreotrophon candelabrum* (Reeve, 1847)

殻は白色で、規則的な間隔で、貝殻表面にヒレ状の突起が形成される。潮間帯の個体は潮間帯下部に生息する個体と比べて貝殻は厚い。肉食性で、二枚貝などを捕食する。

24. チヂミボラ

*Nucella lima* (Gmelin, 1791)

殻色は、たいてい茶色だが、灰白色に茶褐色の帯状の色が現れるタイプや、黄色、紫色などの個体も見られる。貝殻形態に見られる変異は多く、それらの変異に対して現在までに多くのシノニムが与えられてきた。肉食性で二枚貝などを捕食するが、潮間帯上部に生息する個体は、クロタマキビなどの巻貝も捕食する場合がある。発生様式は直達型。岩の窪みに密集して生息している場合が多い。

---

エゾバイ科 **Buccinidae**

25. チシマバイ

*Buccinum chishimanum* Pilsbry, 1904

貝殻は薄く、壊れやすい。貝色は暗い茶色に、雲模様色彩が現れる。成熟サイズはコエゾバイより小型となる。食用となる。

26. コエゾバイ

*Buccinum mirandum* Smith, 1875

貝殻は厚く、貝殻表面の彫刻は格子状となる。色彩の変異は多く、白褐色から茶褐色までと様々。食用となる。

27. エゾバイ

*Buccinum middendorffi* Verkrusen, 1882

貝殻は厚く、殻色は明るい肌色で、表面に黒褐色の斑点が現れる。貝殻表面は凸凹で、成熟個体において、殻口部は肥厚する。潮間帯での生息数は少ない。食用となる。

28. ヒメエゾボラ

*Neptunea (Barbitiona) arthritica* (Bernardi, 1857)

貝殻は堅く、殻色は暗い灰色、殻頂部は丸みを帯びる。縫合は浅く、体層はよく膨れ、一定の間隔で肩の部分がこぶ状に膨れる。蓋の核は下にある。食用となる。

29. ヒメモスソガイ

*Volutharpa ampullacea* (Middendorff, 1848)

貝殻は卵形で、薄く、薄い殻皮に覆われる。蓋は小さい。

---

フトコロガイ科 **Columbellidae**

30. コウダカマツムシ

*Mitrella burchardi* (Dunker, 1877)

貝殻表面は滑らかで、色彩の変異は多い。縫合は滑らか。

二枚貝綱 **BIVALVIA**

イガイ目 **Mytiloidea**

イガイ科 **Mytilidae**

1. ムラサキイガイ

*Mytilus galloprovincialis* Lamarck, 1819

貝殻表面は厚く光沢がある黒い殻皮で覆われる。貝殻は薄い紫色。

2. イガイ

*Mytilus coruscus* Gould, 1861

貝殻は厚く、殻皮の光沢は鈍く、大型個体は、乾燥に伴い、貝殻の一部が割れる場合が多い。

3. エゾヒバリガイ

*Modiolus kurilensis* Bernard, 1983

殻は薄く、赤茶色の厚い殻皮をかぶる。貝殻の周縁部の先端周辺に、厚い殻皮が変形した毛が生える。

4. ハブタエタマエガイ

*Musculus laevigatus* (Gray, 1824)

貝殻は薄く、黒く、薄くて黒い殻皮をかぶる。形はほぼ長方形。スガモの根や岩の窪みに生息している。

---

カキ目 **Ostreoida**

イタボガキ科 **Ostreidae**

5. マガキ

*Crassostrea gigas* (Thunberg, 1793)

貝殻表面は激しく隆起し、もろい。厚岸湖ではマガキの養殖がさかに行われている。地元では1個体80円から300円程度で売られている。

6. イワガキ

*Crassostrea nippona* (Seki, 1934)

左殻はやや膨れる。貝殻は不定形で、付着する場所や基質によって変異に富む。

---

イタヤガイ科 **Pectinidae**

7. エゾキンチャク

*Swiftopecten (Swiftopecten) swiftii* (Bernardi, 1858)

貝殻表面は階段状に凸凹となり、横肋と縦肋が交差する箇所で隆起する。固着性の貝類で、岩場に足糸で付着する。食用となり、貝柱の味はホタテガイより濃厚な旨みがある。貝殻の独特な形から別名「ばばの手」と呼ばれる。

8. アカザラ

*Chlamys (Azumapecten) farreri akazara* (Kuroda, 1932)

貝殻表面は細かい肋に覆われ、肋上に微細な棘が発達する。貝殻の色は変異に富み、白色、黄色、赤色と様々であるが、ほとんどは赤茶色。食用となる。

9. ホタテガイ

*Mizuhopecten yessoensis* (Jay, 1856)

片方の貝殻は膨らむが、もう一方は平坦に近い。ホタテガイの肋の本数は地域ごとに異なっていることが知られており、どのような要因が、肋の本数を決定づけているのか知られていない。時化の際、大量に海岸へ打ち上げられる。厚岸湾では水深 50 cm 程度から生息している。食用。

マルスダレガイ目 Veneroida

ザルガイ科 Cardiidae

10. エゾイシカゲガイ

*Clinocardium californiense* (Deshayes, 1839)

貝殻はよく膨らみ、貝殻表面には 43 本内外の肋が現れる。肋の本数によって、いくつかの名前が与えられたが、本種のシノニムとして扱われている。貝殻表面に殻皮がかぶるコケライシカゲガイは、厚岸湾沖合の水深 40 m 程度に生息している。トリガイの代用品として扱われる場合があり、旨い。

バカガイ科 Mactridae

11. ウバガイ

*Pseudocardium sachalinense* (Schrenck, 1862)

貝殻は良く膨らみ、楕円形で、厚い殻皮をかぶるが、古い殻皮は脱落し、貝殻が露出する。貝殻は白色。近縁種のナガウバガイは、貝殻の膨らみは弱く、長方形に近い。

ニッコウガイ科 Tellinidae

12. ヒメシラトリ

*Macoma incongrua* (Martens, 1865)

殻は卵型で、後端は右にねじれる。貝殻は白色、表面はやや厚い殻皮で覆われる。

マルスダレガイ科 Veneridae

13. スノメアサリ

*Protothaca euglypta* (Sowerby, 1914)

貝殻は良く膨れる。殻色は白色で、表面は成長線と縦肋がぶつかって、格子状になる。食用になるが、味はアサリに劣る。

14. エゾワスレ

*Callista brevisiphonata* (Carpenter, 1864)

貝殻は厚く、膨れる。貝殻表面は、光沢のある茶褐色の厚い殻皮で覆われる。

15. ウチムラサキ

*Saxidomus purpurata* (Sowerby, 1852)

貝殻は堅く、表面は薄い赤茶色で、不規則な成長線で覆われる。貝殻の内面は薄紫色。

16. アサリ

*Ruditapes philippinarum* (Adams & Reeve, 1850)

貝殻は楕円形で、色彩パターンは変異に富む。殻頂から周縁部へ肋が現れ、後方ほど肋の隆起は強く、間隔は広くなる。

ノミハマグリ科 Turtoniidae

17. ノミハマグリ

*Turtonia minuta* (Fabricius, 1780)

貝殻表面は卵型で、貝殻表面は滑らか。海藻が繁茂する場所でタモを用いると大量に採集できる。

オオノガイ目 Myoida

オオノガイ科 Myidae

18. オオノガイ

*Mya (Arenomya) arenaria oonogai* Makiyama, 1935

貝殻は楕円形で、薄く、白い。貝殻表面は薄い殻皮で覆われる。砂中に深く潜って生活しているが、老成個体は、海境変化で、いったん砂から掘り出されると、再び、砂中へ潜ることはできない。

キヌマトイガイ科 Hiattellidae

19. キヌマトイガイ

*Hiattella orientalis* (Yokoyama, 1920)

貝殻は白色で、薄い茶褐色の殻皮で覆われる。貝殻の表面は不定形で、凹凸があるものから、比較的滑らかな個体まで変異がある。後端は裁断状になる。転石の下やコンブ類の根の隙間に足糸で付着する。

ニオガイ科 Pholididae

20. オニカモメガイ

*Penitella gabbii* (Tryon, 1863)

貝殻は白色、よく膨らむ。柔泥底に穴を掘って生活する。このグループは食用とされ、旨い場合が多い。本種の味については未確認。

ウミタケモドキ目 Pholadomyoida

オキナガイ科 Laternulidae

21. フトオビクイ

*Agriodesma naviculoides* Dall, 1909

貝殻は光沢がある真珠色で、表面は淡い茶色の殻皮をかぶり、腹縁はへこむ。海藻の根元や岩礁などに足糸で付着する。

### 3. 厚岸臨海実験所付近の貝類相の特徴

厚岸臨海実験所と同様に北海道太平洋沿岸に位置する白尻（北方圏貝類研究会，2009）、色丹島（野別・山崎，2011）（図 3-2）から報告された貝類の分布を元に、それぞれの地点に生息する貝類の分布組成を比較すると、西側に位置する白尻から東側へ位置する色丹島に向かうに従って、南方に分布の中心がある種類は減少し、北方に分布の中心がある種類が増大する傾向が見られた（図 3-3）。この結果は、北海道の東側から流入する冷たい千島海流に起因すると考えられた。すなわち、3 地点の中で、千島海流の影響を強く受ける最も東側に位置する、色丹島では寒流系種の割合は多く、一方、最も西側に位置し、千島海流の影響は比較的少ない白尻では、寒流系の種類の他にイボニシなどの暖流系の種類も出現し、相対的に寒流系の種類は少なくなる。

厚岸臨海実験所付近の海岸で見られる貝類は、例えばカゴメナワボラやエゾフネガイのように北海道南西部において潮間帯下部以深に生息している種類が、潮間帯で普通に見られた。このような垂直分布を示すのは、生物地理学的に興味深い。

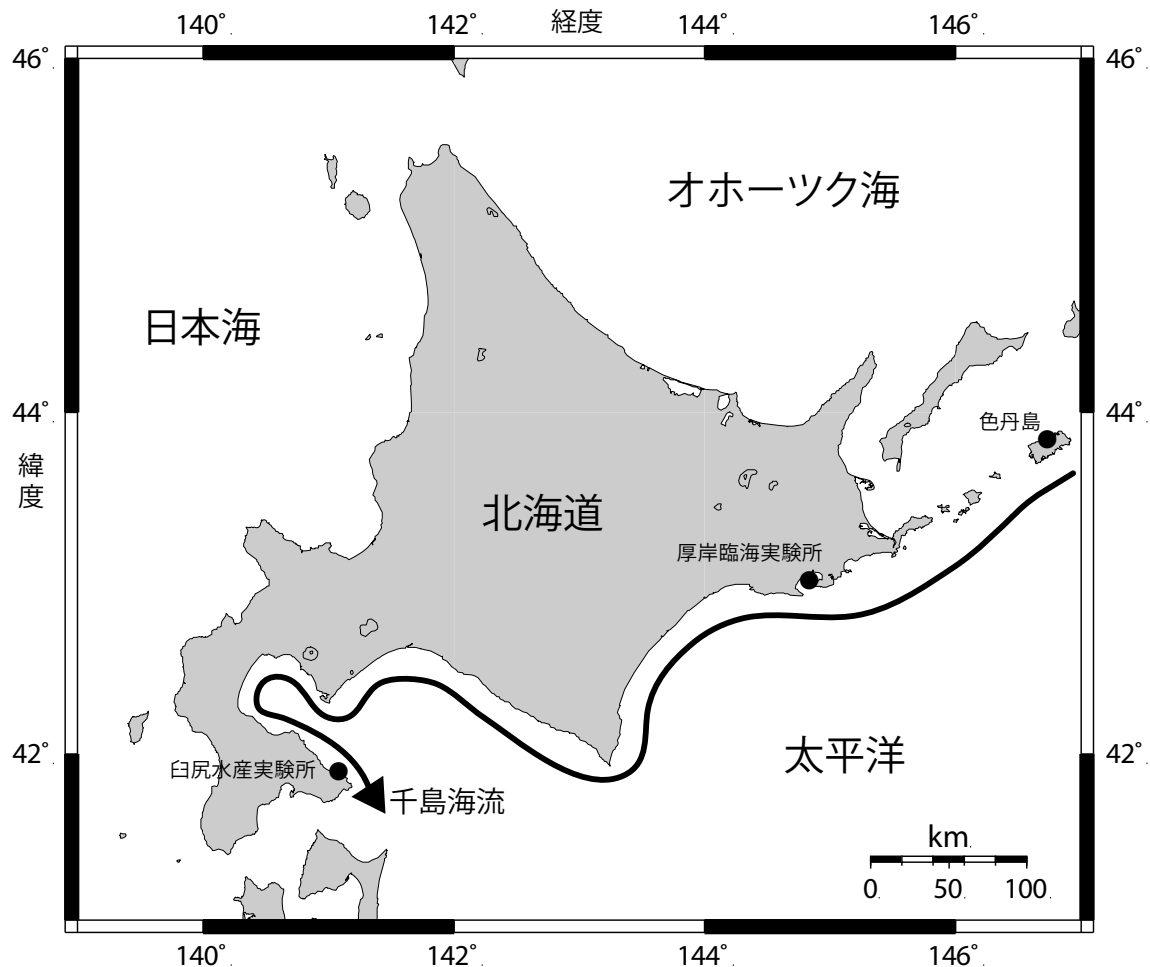
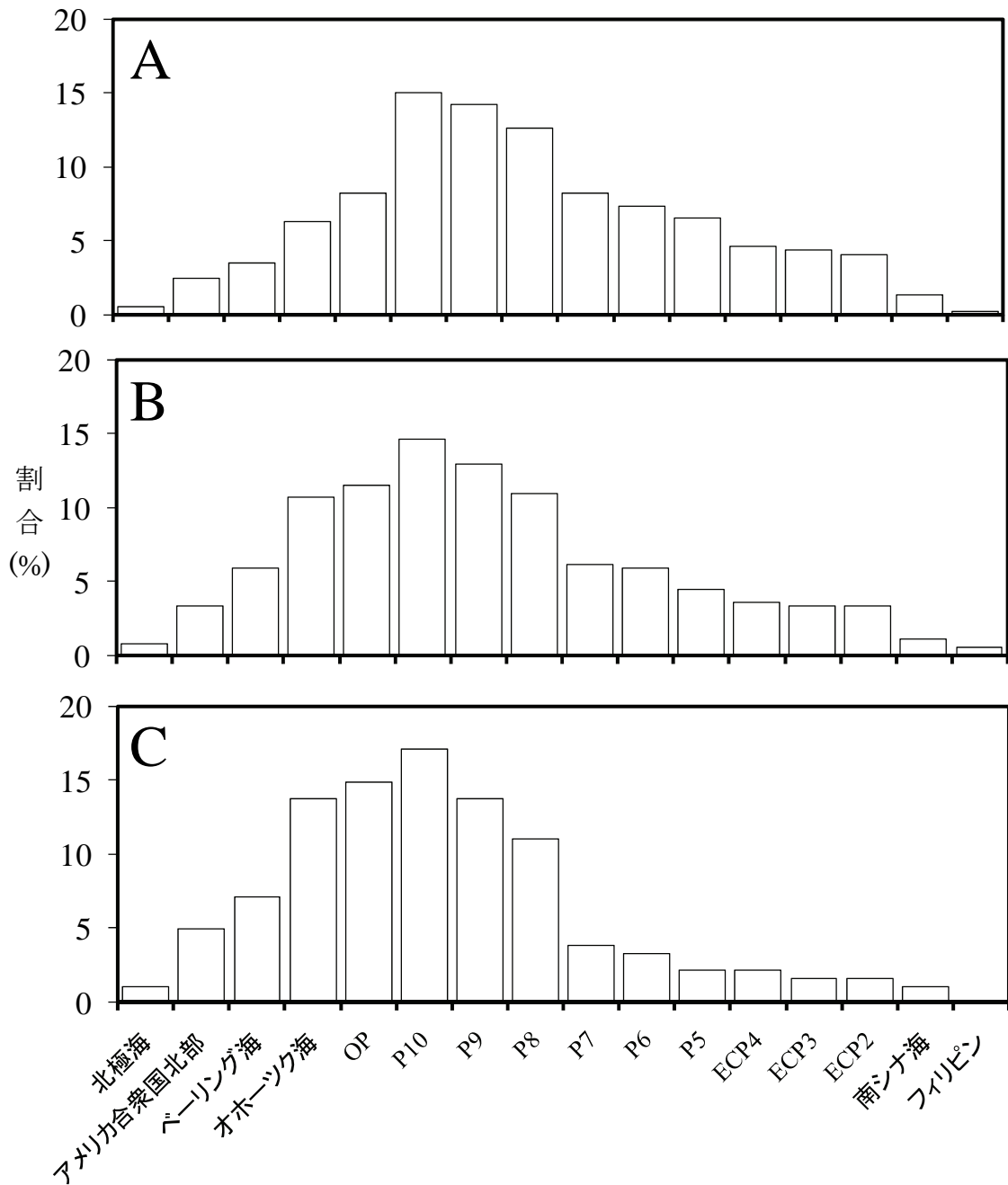


図 3-2 白尻水産実験所，厚岸臨海実験所，色丹島の位置関係を示す。



Higo et al. (1999) による太平洋西岸近海の分類

図 3-3 北海道太平洋沿岸に位置する白尻 (A), 厚岸 (B), 色丹島 (C) から報告された貝類の分布範囲から求めた分布組成。OP: 北海道東部近海, P10: 北海道太平洋沿岸, P9: 東北地方太平洋沿岸, P8: 宮城県以南, 銚子以北, P7: 房総半島近海, P6: 相模灘以南, 和歌山以北, P5: 四国, 九州太平洋沿岸, ECP4: 薩南諸島近海, ECP3: 奄美諸島近海, ECP2: 沖縄県周辺海域を示す。

## 引用文献

- 北方圏貝類研究会. 2009. 北海道大学北方生物圏フィールド科学センター白尻水産実験所付近の貝類. v + 76 pp. 函館.
- 野別貴博・山崎友資. 2011. 色丹島で確認された貝類. 知床博物館研究報告, 32: 1-8.

筆者一覧

## 山崎友資 Tomoyasu Yamazaki

1982年 生まれ (北海道)

2010年 北海道大学大学院 水産科学院博士課程修了 (水産科学)

北方圏貝類研究会会長

所属学会: 日本貝類学会, 日本ベントス学会, 日本生物地理学会

新種の貝としてウシオシヤクシガイ, 和名新称としてシェブカエソバイ等がある。

研究のキーワード: Rapid evolution, 進化, 可塑性, 生態学, 分類学。

## 柏尾 翔 Sho Kashio

1987年生まれ (滋賀県)

北海道大学大学院 水産科学院

北方圏貝類研究会会員 2008年度～

北海道におけるマナマコの生態学的研究を行っている。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター

## 厚岸臨海実験所付近の貝類 潮間帯編

Molluscan Fauna of Akkeshi Marine Station

Field Science Center for Northern Biosphere, Hokkaido University

Part 1. Intertidal areas.

---

2011年3月 第1版 第1刷発行

## 編著 北方圏貝類研究会 山崎友資

Conchological Club of Northern Regions, Hokkaido University

Tomoyasu Yamazaki

<http://wsnr.web.fc2.com/wsnr/index.html>

発行者 北方圏貝類研究会

印刷所 三和印刷

〒040-0061 北海道函館市海岸町8番11号

---

ISBN 978-4-9904532-1-3

非 売 品

本図鑑の作成は北海道大学元気プロジェクト 2009・2010 の助成を受けて行われました。



ISBN 978-4-9904532-1-3